

公立大学法人広島市立大学の概要

平成 2 9 年 6 月

公立大学法人

広島市立大学

目 次

項	目	ページ
1	大学の概要	
(1)	建学の基本理念	1
(2)	沿革	1
(3)	運営組織 (平成29年4月1日時点)	2
(4)	学部、大学院、附置研究所の概要 (平成29年4月1日時点)	3
(5)	附属施設の概要(概要) (平成28年度実績)	7
	(利用状況)	7
(6)	施設 (平成29年4月1日時点)	9
(7)	学年暦 (平成29年度)	11
(8)	教職員数(平成29年度) (平成29年5月1日時点)	12
	(平成28年度) (平成28年5月1日時点)	13
(9)	学生数 (平成29年5月1日時点)	14
(10)	研究生・留学生等 (平成28年度)	14
(11)	入学検定料、入学料、授業料等 (平成29年4月1日時点)	15
2	教育・研究	
(1)	人材育成の目標及び各ポリシー	16
(2)	特色ある講義科目 (平成29年度)	27
(3)	外部資金の獲得状況 (平成24年度～28年度)	29
(4)	科学研究費補助金の内訳 (平成28年度)	30
(5)	研究開発費助成制度等の採択状況 (平成21年度～28年度)	35
(6)	FD・SD活動実施状況 (平成28年度)	40
3	入学試験	
(1)	入学試験の概要(学部) (平成30年度入試)	42
	(大学院) (平成30年度入試)	43
(2)	入学試験実施状況 (平成29年度入試)	44
(3)	年次別競争率等 (平成20年度～29年度入試)	46
(4)	入学者の状況(出身都道府県別内訳(学部)) (平成25年度～29年度)	47
(5)	社会人入試(大学院)の状況(募集人員等) (平成29年度入試)	48
	(入学者数) (平成24年度～28年度)	48
4	学生生活	
(1)	学生の受賞状況 (平成28年度)	49

目 次

	項 目	ページ
5 就職		
(1) 就職・進学等		
ア 学部別の状況	(平成28年度)	54
イ 就職率の推移	(平成9年度～28年度)	55
(2) 就職先の構成比		
ア 業種別	(平成28年度卒)	56
イ 地域別	(平成28年度卒)	57
(3) 就職先企業等一覧	(平成28年度)	58
6 社会連携		
(1) 産学官連携		
ア 推進体制	(平成29年4月1日時点)	61
イ 研究・事業等の実施状況	(平成19年度～28年度)	61
(2) 地域連携		
ア 公開講座	(平成28年度)	64
イ その他の事業	(平成28年度)	71
ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況	(平成28年度)	72
(3) 高大連携		
ア 教育ネットワーク中国における高大連携	(平成28年度)	75
イ 広島市教育委員会との高大連携講座	(平成28年度)	75
ウ 高校での模擬授業の開催	(平成28年度)	75
(4) その他の連携	(平成29年4月1日時点)	77
7 国際交流		
(1) 海外学術交流協定校	(平成29年4月1日時点)	79
(2) 学生交流に関する覚書締結校	(平成29年4月1日時点)	79
(3) 国際交流事業実績	(平成28年度)	79

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」

(2) 沿革

- 平成元年11月 広島市立大学（仮称）設立準備委員会の設置
- 平成3年7月 「広島市立大学（仮称）基本構想」策定
- 平成4年11月 校舎建設工事起工式
- 平成5年12月 文部省設置認可
- 平成6年4月 開学
- 平成8年10月 講堂完成
- 平成10年4月 大学院博士前期課程開設。広島平和研究所を設置
- 平成12年3月 情報科学部棟別館完成
- 平成12年4月 大学院博士後期課程開設
- 平成15年3月 大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
- 平成15年4月 情報科学部情報数理学科、大学院情報科学研究科博士前期課程情報数理学専攻を、それぞれ情報メディア工学科、情報メディア工学専攻に名称変更
- 平成19年4月 情報科学部を情報メディア工学科、情報工学科、知能情報システム工学科、情報機械システム工学科の4学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科に再編（平成19年度入学生より）
大学院情報科学研究科博士前期課程を情報メディア工学専攻、情報工学専攻、知能情報システム工学専攻、情報機械システム工学専攻から情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、創造科学専攻に再編（平成19年度入学生より）
- 平成19年7月 社会連携センターを設置
- 平成22年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
- 平成24年4月 情報科学部を情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学の4学科に再編（平成24年度入学生より）
- 平成25年4月 大学院芸術学研究科博士前期課程を絵画専攻、彫刻専攻、造形計画専攻の3専攻から、造形芸術専攻の1専攻に再編（平成25年度入学生より）
国際交流推進センターを設置
- 平成25年10月 サテライトキャンパスを開設
- 平成26年4月 キャリアセンターを設置
- 平成28年4月 大学院情報科学研究科博士前期課程創造科学専攻を医用情報科学専攻に名称変更（平成28年度入学生より）
- 平成28年10月 COC+宮島教育研究施設（サテライトハウス宮島）を開設

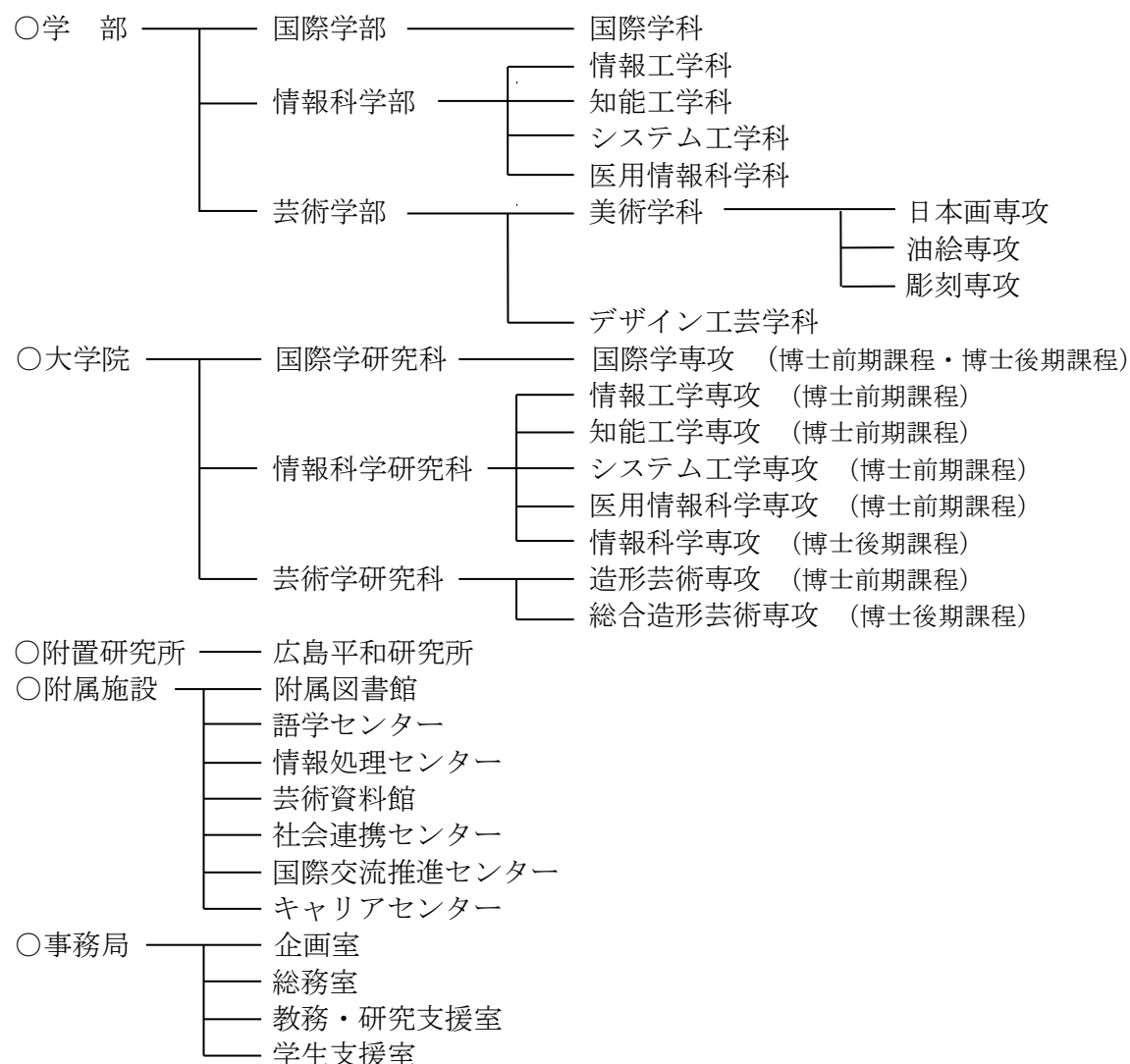
(3) 運営組織（平成 29 年 4 月 1 日時点）

ア 公立大学法人広島市立大学の概要

- 所在地
広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
- 設立年月日
平成 22 年 4 月 1 日
- 資本金
155 億 1,019 万 1,000 円
(広島市出資額 155 億 1,019 万 1,000 円 出資割合 100%)
- 役員

役職名	氏名	備考
理事長	青木 信之	学長
理事（企画・戦略担当）	若林 真一	副学長（企画・戦略担当）
理事（教育・研究担当）	前川 義春	副学長（教育・研究担当）
理事（総務・危機管理担当）	重村 隆彦	事務局長
理事（非常勤）	今中 亘	元中国新聞社社長
理事（非常勤）	牟田 泰三	元広島大学学長
監事（非常勤）	津村 健太郎	弁護士
監事（非常勤）	佐上 芳春	公認会計士

イ 構成図



(4) 学部、大学院、附置研究所の概要（平成 29 年 4 月 1 日時点）

ア 学部／大学院

(7) 国際学部／大学院国際学研究科

a 教育方針

(a) 国際学部：

国際学部は、異質で多様な知識を、単なる情報としてではなく、問題の解決に役立つべく統合された新しい知として身につけ、世界各地域の違いのあり方を尊重し、共生の必要性を理解できる国際的な感覚を備えた人材を育成することを目的としている。真の国際人を目指し、5つのプログラム（「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「言語・コミュニケーション」、「国際ビジネス」）を柱とした学際的なカリキュラムを設け、学生の関心や将来目的に応じた多様な履修形態を可能にするとともに、学生同士や教員としっかりとした議論ができるように、少人数による演習科目を重視している。

(b) 大学院国際学研究科：

博士前期課程においては、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な真の国際人の養成と、高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育・研究者の育成を目指している。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応じて、国際社会の文化、政治、経済、教育、科学、産業等、様々な分野において指導的役割を果たしうる高度な専門職業人及び高度で先端的な学際的研究に携わる能力を備えた教育・研究者の育成を目指している。

b 研究活動状況

学際的な学術研究やコロキウム形式による国際的な研究交流活動などを行っている。その研究成果を学術書の公刊や国内外の学会、シンポジウム等において研究発表するとともに、公開講演会、公開講座を通して地域社会への還元を行っている。

また、平成14年度より、本学部教員が独自に開発したコンピュータ・ネットワークによる英語集中教育プログラム（※注）を正規の英語科目として導入したほか、本プログラムを本市の生涯学習施設が主催するリカレント教育事業の一環として取り入れるとともに、公民館等でも市民向けの講座を開催している。

※注：英語の語学力のうち、主に「聞く」「読む」の2技能をより高い水準に向上させることを目的に、コンピュータ・ネットワークを利用して英語学習を実施するもので、将来的にはインターネットによる受講により市民を対象とした在宅での英語の授業実施を目指している。

(イ) 情報科学部／大学院情報科学研究科

a 教育方針

(a) 情報科学部：

情報科学を統合する視点に立って、理論的な基礎や情報メディアからコンピュータ、人工知能、ヒューマンインタフェース及びこれらを統合したロボットなどの各種システムに至るまで、幅広く情報科学に関する専門的な教育研究を行っている。

また、高速なキャンパス情報ネットワークと多数のコンピュータを活用し、電子メールや掲示板などによる学生相互の情報交換やレポート提出、インターネット上に公開されている情報の調査や調査研究結果の公表など、知的生産のためにコンピュータを道具として有効活用できる人材を育成している。

さらに、21世紀の知的社会で、問題解決ができる人材を育成するため、実践、実習、演習、口頭発表などの体験的・総合的学習を重視した教育プログラムや、論理的思考の訓練や発表・表現の手段としての言語（日本語、英語及びコンピュータ言語など）の教育訓練プログラムを実施している。

(b) 大学院情報科学研究科：

博士前期課程においては、情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者及び高度専門技術者を養成することを目的とし、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータ&ネットワークを創生する能力 ②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理およびシステム化する能力 ③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力 ④情報、自然科学、工学の3分野を医用情報科学分野の基礎と位置付け体系化し、それらを実践的に応用展開する能力 ⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身につけた人材の養成を行っている。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応え、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目的とし、①高度な専門知識と幅広い識見、実践力を持つ研究者・技術者 ②先端的な科学技術に柔軟に対応し、均衡のとれた学識と感性をもって後進を指導できる教育者 ③高度な科学技術を広く社会に還元し、地域の活性化に資する人材 ④自主的課題発掘能力、実践的課題解決能力、高度な研究開発能力を備えた人材の養成を行っている。

b 研究活動状況

多岐にわたる情報科学の研究分野において、高度で先端的な学術研究を行っており、特に他大学・企業との人的交流、受託研究、共同研究を実施しながら多様かつ柔軟な研究活動を実施している。

産学官連携への取り組みも積極的に実施しており、本学の産学官連携推進活動の中核として、多様な研究活動を推進しているほか、地域産業界を対象とした研究公開など、積極的な情報発信を行っている。

(ウ) 芸術学部／大学院芸術学研究科

a 教育方針

(a) 芸術学部：

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと習得し、多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際社会でもアートを通じて活躍できる能力を育むことを目指している。

このため、自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の習得を重視した教育を行うとともに、独自の表現方法と出会えるよう過去から現在に至る様々な分野の素材や技術を学ぶことができる多角的かつ総合的な教育を行っている。また、地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を学び、社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供している。

さらに、単科大学が多い芸術系大学の中で3学部構成という特色を生かし、国際的な視野の下に教育・研究を推進するため、3学部の連携による幅広い教養教育を基礎に美術教育を行っている。

(b) 大学院芸術学研究科：

芸術創造活動を自ら行う芸術家、研究者の養成と、地域文化振興のための人材養成を目指し教育・研究を行っている。また、各研究分野の内容を深化させるとともに、各領域を横断する研究や理論的研究など、より深く総合的な教育・研究を行っている。前期、後期課程とも、複数の専攻に分割する構成をとらず、造形芸術専攻、総合造形芸術専攻の各1専攻とし、一貫した教育体制とし、以下の内容の高度な教育・研究を実践している。

- ・ 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究
- ・ 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究。
- ・ 理論の習熟を基にした創作を探究し、創造、表現及びその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究
- ・ 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究

b 研究活動状況

地域の美術文化及び産業の振興・発展に多様な形で貢献に努めるため、地域とともに歩む大学として専門分野に関わる諸活動に参画し、作品制作にかかわる研究や実技指導、展覧会の審査委員等の活動を幅広く行っている。

特に、地域団体との協力による文化イベントの開催は、高い評価を得ている。

イ 広島平和研究所

(7) 研究方針

- ・世界初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、学術研究活動を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、地球社会が直面する諸問題の解決にも寄与し、世界平和の創造、維持と地域社会の発展に貢献する国際的な平和研究機関を目指す。
- ・国内外における平和研究機関と積極的に連携してネットワークを構築することにより、平和研究の発展に寄与するとともに、学術研究の成果を社会に積極的に公開する。

(4) 研究活動状況

「核」に関する諸問題の研究、「平和」に関する理論的及び実証的研究並びに東アジアの平和に関する研究を主な研究領域として、国際社会に通用する高度な水準の学術研究を実施している。（実施中の研究会：「核・軍縮研究会」、「人間の安全保障研究会」、「信頼安全保障醸成措置（CSBMs）研究会」）

・研究成果の公開

市民を対象とした国際シンポジウムの開催、紀要（ジャーナル）及びニューズレターの発行やホームページの運営等により研究成果の地域社会への還元に努めている。また、時宜に応じたテーマで講師を招き意見交換する「HP I 研究フォーラム」を開催するとともに、平和に関する様々な問題について講義形式により共に学ぶ機会を市民に提供する「連続市民講座」を実施している。

(5) 附属施設の概要（平成 28 年度実績）

ア 附属図書館

図書約 33 万冊（年間受入数 約 7,000 冊）、雑誌約 1,600 誌（年間受入数 約 400 誌）、視聴覚資料約 1,600 タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディに手に入れることができる。館内には LAN 環境が整備されており、Web 情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできる。自然光を取り入れた、気持ちの安らぐ空間設計も特徴。地域にも開放された図書館である。

○ 利用状況

平成 28 年度	入館者数	105,037 名（447 名／日）
	図書貸出	30,767 冊（131 冊／日）
	〃	13,819 件（59 件／日）

イ 語学センター

各教室に CALL（コンピュータ支援による言語学習）システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、e ラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL 英語集中」や「e ラーニング英語」の教室としても利用されている。

自習室では、約 4,300 点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK 語学講座のテキストや CD が利用可能である。新たに開設されたランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気外国語での会話や交流を楽しむ場として利用されている。

○ 利用状況

平成 28 年度	自習室の利用者数	40,258 名（167 名／日）
	自習者（その他含む）	36,013 名
	CALL 英語集中・e ラーニング英語受講者	4,245 名

ウ 情報処理センター

高性能なネットワーク機器を備え、利便性に優れた情報通信サービスを提供している。実習室にはパソコンを約 160 台設置し、1 年生の必修科目である「情報基礎」の実施や自習スペースとして活用されている。

教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できる。

また、学内各所で無線 LAN を整備しているほか、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備の技術支援、履修登録や成績確認を行うことができる大学情報サービスシステムの運用管理の支援など、学内の様々なネットワークサービス支援を行っている。

○ 利用状況

平成 28 年度	学内利用者数	22,596 名（95 名／日）
	学外利用者数	435 名

エ 芸術資料館

本館は、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチ他、国内外の作品約1,200点を保存している。世界の有名なデザイナーズチェアは67点と、まとまった数を収蔵している。そして、大学の教育成果としての作品群、「卒業制作優秀買い上げ作品」、被爆者の肖像画「光の肖像」シリーズを収蔵するなど、幅広い分野の作品の収集を行ってきた。

展示室では、企画展や学部・大学院の研究発表展を随時開催している。また、国内外の美術館や美術展への作品貸出を実施し、大学での研究や広島市立大学芸術資料館のコレクションを一般に公開している。

○ 入場者数

平成28年度	4,486名
--------	--------

○ 収蔵作品貸出美術展数

平成28年度	8件
--------	----

(6) 施設（平成29年4月1日時点）

ア 校地面積等

面 積（未取得の面積を含む）	取得費（未取得分を除く）
総面積 30万2,432㎡	総額 135億5,126万円

イ 建 物

施 設 名	建設工事費
総延床面積 7万7,000㎡ [内 訳] ・本部棟（RC造2F） 1,822㎡ ・国際学部棟・講義棟（SRC一部S造7F） 1万2,085㎡ ・情報科学部棟・情報処理センター（SRC一部S造8F） 1万8,912㎡ ・情報科学部棟別館（SRC一部S造6F） 5,892㎡ ・芸術学部棟・芸術資料館・第一工房棟（SRC一部S造6F） 1万4,086㎡ ・第二工房棟（S造2F） 489㎡ ・第三工房棟（S造2F） 975㎡ ・第四工房棟（S一部RC造1BF2F） 1,277㎡ ・図書館・語学センター（RC造4F） 6,310㎡ ・講 堂（RC一部S造2F） 2,543㎡ ・体 育 館（RC一部S造2F） 3,100㎡ ・クラブハウス（RC造2F） 400㎡ ・第2クラブハウス（軽量鉄骨造1F） 105㎡ ・第3クラブハウス（軽量鉄骨造1F） 105㎡ ・トラック&フィールド倉庫（RC一部S造1F） 118㎡ ・学 生 寮（RC造3F） 2,874㎡ ・学 生 会 館（RC造2F） 2,542㎡ ・特殊排水処理施設（RC造1F） 106㎡ ・エネルギーセンター（RC造1F） 1,002㎡ ・その他（コリドール、駐輪場、公用車車庫） 2,257㎡	総 額 320億2,387万円

※ 第2、第3クラブハウスについてはリース物件であり、建設工事費には含まない。

ウ 屋 外

トラック&フィールド

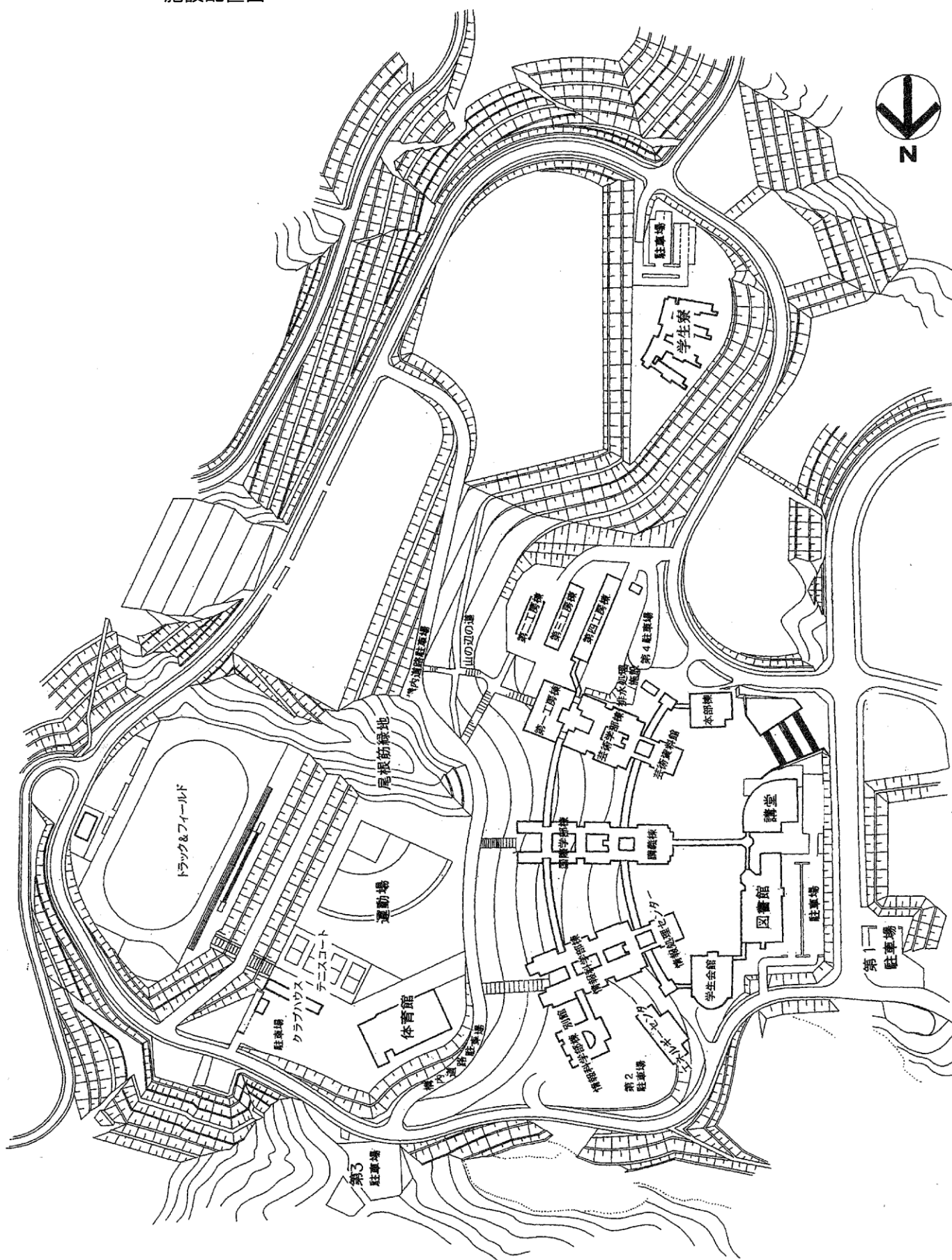
運動場

全天候型テニスコート（4面）

駐車場（約796台）

駐輪場（約350台）

工 施設配置図



(7) 学年暦（平成29年度）

前期（4月1日～9月30日）

4月1日（土）～9日（日）	春季休業
4月4日（火）	入学式
4月4日（火）～7日（金）	オリエンテーション・ガイダンス
4月4日（火）～7日（金）	定期健康診断
4月10日（月）	前期授業開始
4月10日（月）～21日（金）	前期履修手続期間
4月29日（土）・30日（日）	情報科学部新入生オリエンテーションセミナー
6月14日（水）	開学記念日（授業実施）
7月25日（火）・31日（月）	前期補講日
8月1日（火）～10日（木）	前期定期試験
8月11日（金）～10月1日（日）	夏季休業
8月14日（月）	全学休業日

後期（10月1日～3月31日）

10月2日（月）	後期授業開始
10月2日（月）～13日（金）	後期履修手続期間
10月9日（月・体育の日）	月曜日の授業実施
10月28日（土）・29日（日）	大学祭
11月8日（水）	防火・防災訓練の日
12月23日（土）～1月3日（水）	冬季休業
1月12日（金）	開学記念日の振替日（授業は実施しない）
1月30日（火）・31日（水）・ 2月1日（木）	後期補講日
2月5日（月）～15日（木）	後期定期試験
2月16日（金）～3月31日（土）	学年末休業
3月23日（金）	卒業式

(8) 教職員数

ア 平成29年5月1日時点

(7) 教員数

区分等		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計
学長・副学長	小計	1	2						3
	男	1	2						3
	女								0
国際学部	小計			21 (4)	19 (3)	3 (1)			43 (8)
	男			12 (3)	14 (3)	2 (0)			28 (6)
	女			9 (1)	5 (0)	1 (1)			15 (2)
情報科学部	小計			26	36	15	24	3	104 (0)
	男			25	35	14	23	2	99 (0)
	女			1	1	1	1	1	5 (0)
芸術学部	小計			12 (1)	8	8	3		31 (1)
	男			12 (1)	5	8	1		26 (1)
	女				3	0	2		5 (0)
広島平和研究所	小計			6 (2)	5 (2)	0		1	12 (4)
	男			5 (2)	3 (1)			1	9 (3)
	女			1	2 (1)				3 (1)
企画室	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
社会連携センター	小計							7	7 (0)
	男							6	6 (0)
	女							1	1 (0)
国際交流推進センター	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
合計	計	1	2	65 (7)	68 (5)	26 (1)	27 (0)	13 (0)	202 (13)
	男	1	2	54 (6)	57 (4)	24 (0)	24 (0)	11 (0)	173 (10)
	女	0	0	11 (1)	11 (1)	2 (1)	3 (0)	2 (0)	29 (3)

非常勤講師	区分等	教員からの 兼務	教員以外 からの兼務	計
	計	74	105	179 (23)
	男	58	79	137 (17)
	女	16	26	42 (6)

※ 平成29年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(4) 職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	47	31	15
	男	27	6	-
	女	20	25	-
社会連携センター	小計	6	2	0
	男	2	1	-
	女	4	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	1
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	55	34	16
	男	29	7	-
	女	26	27	-

(5) 非常勤特任教員数

区分等		非常勤特任教員
事務局	小計	5
	男	3
	女	2

※ 職員 … 平成29年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 … 平成29年5月1日現在
臨時職員 … 平成29年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

イ 平成28年5月1日時点

(7) 教員数

区分等		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計
学長・副学長	小計	1	2						3
	男	1	2						3
	女								0
国際学部	小計			21 (4)	17 (3)	4 (1)			42 (8)
	男			12 (3)	13 (3)	3 (0)			28 (6)
	女			9 (1)	4 (0)	1 (1)			14 (2)
情報科学部	小計			26	34	18	23	4	105 (0)
	男			25	33	17	22	3	100 (0)
	女			1	1	1	1	1	5 (0)
芸術学部	小計			12 (1)	6	7	3		28 (1)
	男			12 (1)	6	6	0		24 (1)
	女					1	3		4 (0)
広島平和研究所	小計			6 (2)	4 (2)	1			11 (4)
	男			6 (2)	3 (1)				9 (3)
	女				1 (1)	1			2 (1)
社会連携センター	小計							6	6 (0)
	男							6	6 (0)
	女								0 (0)
国際交流推進センター	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
合計	計	1	2	65 (7)	61 (5)	30 (1)	26 (0)	11 (0)	196 (13)
	男	1	2	55 (6)	55 (4)	26 (0)	22 (0)	10 (0)	171 (10)
	女	0	0	10 (1)	6 (1)	4 (1)	4 (0)	1 (0)	25 (3)

非常勤講師	区分等	教員からの 兼務	教員以外 からの兼務	計
	計	63	103	166 (21)
	男	52	78	130 (16)
	女	11	25	36 (5)

※ 平成28年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	45	32	14
	男	27	6	-
	女	18	26	-
社会連携センター	小計	6	2	2
	男	2	2	-
	女	4	0	-
国際交流推進センター	小計	2	1	1
	男	1	0	-
	女	1	1	-
合計	計	53	35	17
	男	30	8	-
	女	23	27	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等		非常勤特任教員
事務局	小計	4
	男	3
	女	1

※ 職員 … 平成28年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 … 平成28年5月1日現在
臨時職員 … 平成28年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

(9) 学生数（平成29年5月1日時点）

ア 学部

（単位：人）

学部	学科		総定員	1 年次		2 年次		3年次		4 年次		計	
国際学部国際学科			400	110	(75)	113	(86)	110	(87)	153	(112)	486	(360)
情報科学部	(学部所属)		—	229	(43)							229	(43)
	情報工学科		240			83	(10)	64	(5)	51	(6)	198	(21)
	知能工学科		240			72	(14)	60	(11)	65	(20)	197	(45)
	システム工学科		240			69	(15)	69	(20)	66	(15)	204	(50)
	医用情報科学科		120			34	(4)	37	(9)	31	(10)	102	(23)
	計		840	229	(43)	258	(43)	230	(45)	213	(51)	930	(182)
芸術学部	美術学科	日本画専攻	40	10	(9)	12	(8)	10	(9)	10	(10)	42	(36)
		油絵専攻	80	24	(17)	22	(15)	20	(16)	21	(19)	87	(67)
		彫刻専攻	40	11	(8)	10	(9)	13	(7)	12	(7)	46	(31)
		小計	160	45	(34)	44	(32)	43	(32)	43	(36)	175	(134)
	デザイン工芸学科		160	45	(41)	44	(38)	42	(33)	44	(40)	175	(152)
	計		320	90	(75)	88	(70)	85	(65)	87	(76)	350	(286)
合計			1,560	429	(193)	459	(199)	425	(197)	453	(239)	1,766	(828)

注：（ ）内は女子の人数で内数

イ 大学院

（単位：人）

研究科	専攻	総定員	1 年次		2 年次		3 年次		計	
研究国際科学	国際学	30	10	(4)	14	(6)			24	(10)
	国際学（後期）	21	1	(1)	1		9	(5)	11	(6)
	計	51	11	(5)	15	(6)	9	(5)	35	(16)
研究情報科学	情報工学	46	22	(0)	20	(0)			42	(0)
	知能工学	46	13	(3)	21	(0)			34	(3)
	システム工学	46	21	(1)	15	(0)			36	(1)
	医用情報科学	30	4	(1)	9	(0)			13	(1)
	(前期計)	168	60	(5)	65	(0)	0	(0)	125	(5)
	情報科学（後期）	84	3	(0)	3	(0)	5	(0)	11	(0)
	計	252	63	(5)	68	(0)	5	(0)	136	(5)
研究芸術科学	造形芸術専攻	60	25	(15)	28	(20)			53	(35)
	総合造形芸術（後期）	18	8	(6)	3	(2)	9	(5)	20	(13)
	計	78	33	(21)	31	(22)	9	(5)	73	(48)
計	前期	258	95	(24)	107	(26)	0	(0)	202	(50)
	後期	123	12	(7)	7	(2)	23	(10)	42	(19)
合計		381	107	(31)	114	(28)	23	(10)	244	(69)

注：（ ）内は女子の人数で内数

(10) 研究生・留学生等（平成28年度）

（単位：人）

区分	人数	摘 要
研究生	3	
外国人研究生	22	中国20、韓国1、ロシア1
科目等履修生	12	中国1
特別聴講学生	27	中国10、ドイツ9、韓国4、フランス4
外国人留学生	58	中国40、韓国7、ベトナム6、フランス2、シリア1、メキシコ1、ハンガリー1

※ 外国人留学生は、平成28年度12月31日の在籍状況。その他は平成28年度の受入数

※ 平成28年度外国人留学生の学部等別内訳

国際学部19、情報科学部5、国際学研究科17、情報科学研究科7、芸術学研究科10

(11) 入学検定料、入学料、授業料等（平成29年4月1日時点）

区 分			金 額	
入学検定料	学生	学部	17,000円 (転学、編入学又は再入学に係る入学検定料については、30,000円)	
		大学院	30,000円	
	研究生		9,800円	
	科目等履修生		9,800円	
入学料	学生	市内の者	282,000円	
		市外の者	423,000円	
	研究生	市内の者	84,600円	
		市外の者	126,900円	
	科目等履修生	市内の者	28,200円	
		市外の者	42,300円	
授業料	学生		年額	535,800円
	研究生		月額	29,700円
	科目等履修生		1 単位につき	14,800円
	特別聴講学生		1 単位につき	14,800円
公開講座受講料			1 講座につき 5 時間まで	5,200円
			1 講座につき 5 時間を超える時間 5 時間までごとに	1,000円
学位論文審査手数料			1 件につき	57,000円
学生寮使用料			月額	5,900円
証明書交付手数料			1 件につき (証明書又は翻訳文書の用紙 1 枚を 1 件とする。)	350円

※ この表において「市内の者」とは次の各号のいずれかに該当する者をいい、「市外の者」とは市内の者以外の者をいう。

- (1) 入学の日の属する月の初日において引き続き 1 年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (2) 入学の日の属する月の初日において配偶者又は 1 親等の親族が引き続き 1 年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (3) 理事長が前 2 号に掲げる者に準ずると認める者

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー

ア 学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身につけたうえで当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学は「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念とし、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、感性豊かな人間性を涵養するとともに、新しい時代の潮流に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を開設します。
2. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学部

人材育成の目標

国際学部は、豊かな学識と広い視野に基づいて、国際社会や地域社会に貢献できる国際人を育成することを教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 国際社会が抱えているグローバルな問題、地域社会で生じているローカルな問題に関心を持ち、それらの解決を真摯に考える人材
2. 学問分野、国・地域などの境界を越えて、様々な問題を考え、その解決を探究し、寛容な精神を身につけようとする人材
3. 地域社会に貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための、しっかりとした基盤を築こうとする人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身につけたうえで、卒業論文を提出して審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（国際学）の学位を授与します。

- 国際社会や地域社会における課題に関心を持ち、それらの解決を真摯に考える。〈普遍的教養〉
- 地域社会に貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための、しっかりとした基盤を築く。〈専門的知識・技能〉
- 学問分野、国・地域などの境界を越えて、さまざまな問題を考え、その解決を探究し、寛容な精神を身につける。〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部は、豊かな学識と広い視野に基づいて、国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を教育理念とし、国際社会がかかえているグローバルな問題、地域社会で生じているローカルな問題に関心を持ち、それらの解決を真摯に考える人材、学問分野、国・地域などの境界を越えて、さまざまな問題を考え、その解決策を探究し、寛容な精神を身につけようとする人材、地域社会に貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための基礎をしっかりと築こうとする人材を育成することを目標として、次のとおり教育課程を編成し、実践します。

1. 4年間の学士教育課程を通じ、幅広い教養と専門的・学際的な知識を身につけることができるよう、全学共通系科目・外国語系科目と専門科目を連携させます。
2. 国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること、また高度な外国語能力と国際的感覚に加えて問題解決のための行動力を身につけることを目指して、幅広い人文・社会科学分野を網羅する次のプログラムのもとに専門科目を開設します。
 - 国際政治・平和
 - 公共政策・NP0

- 多文化共生
- 言語・コミュニケーション
- 国際ビジネス

3. 一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられるよう、丁寧なサポートを可能にする少人数クラスによるゼミを重視し、自由に組み合わせ学習できる、多様で柔軟な専門科目を編成します。さらに国際学部での学びの成果をまとめるために卒業論文科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

国際学部では、次のような人の入学を求めています。

1. 幅広い分野の基礎的な知識を理解し、さらに考えを深めて自らのことばで表現できる人
2. 日本語と外国語の能力を磨き、コミュニケーション能力を高めて、さまざまな国や地域の人々と交流したい人
3. 国際社会や地域社会のさまざまな課題に関心を持ち、その解決に真摯に取り組める人？

(4) 情報科学部

人材育成の目標

情報科学部は、情報工学・情報科学分野の専門学識及び専門技術を身に付け、高度情報化社会を支えることができる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境を創造する人材
2. 人間の知的コミュニケーション及び情報行動を支援する知的情報システムを開発・研究できる人材
3. 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで、システム全体の調和と協調を図った創造的な解決策を提案できる人材
4. 情報科学・自然科学・工学にわたる広範な領域における知識や技術を組み合わせて活用することができる人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報科学部は、所定の期間在学して所定の単位を修得し、以下の分野において専門的技術と理論及びそれらを活用するための英語の基礎能力を修得したうえで、卒業論文を提出して審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学部は、情報工学・情報科学分野の専門学識及び専門技術を身に付け、高度情報化社会を支えることができる人材を育成することを教育理念としています。入学後情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味・関心・適性に基づいて、学生が専門分野を適切に選択できる仕組みを提供し、教育課程を次のように編成します。

1. 幅広い教養・知識を修得し、感性豊かな人間性を涵養するとともに、情報化・国際化等に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。
2. 情報科学を学ぶ上で基礎となる普遍的な知識・技法を修得するため、専門基礎科目を開設します。
3. 以下の専攻分野について、専門的な知識・技能・能力を修得するため、専門科目を開設します。
 - コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
 - 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
 - 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
 - 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野
4. 21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した以下の科目を開設します。
 - 専門基礎科目で修得した知識を具体的な問題に適用する能力を育成するための実験科目
 - 専門科目で修得した知識を具体化させ、思考力、洞察力を養い、実際的な問題・課題を解決する能力を育成するための実験科目
 - 研究に対する方法論、問題解決能力を身に付け、研究の成果、意義、有用性を論理的にまとめ、発表・討論する能力を育成するための卒業研究

入学受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学部では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に興味があり、情報科学をより深く学びたいと考えている人
2. 情報科学の基礎である数学・理科・語学が得意な人
3. 困難な問題に挑戦し、解決しようとする意欲と熱意を持つ人

(ウ) 芸術学部

人材育成の目標

芸術学部は、文化芸術の創造及び発展に貢献できる、先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する創造、表現及びその応用の技術と理論を教育・研究し、地域連携と国際交流を視野に入れ、先見性・創造性・独創性に富む卓越した人材の育成を目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

芸術学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術・理論・能力を身につけたうえで、卒業作品を提出して審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 専攻分野における創作活動に必要な表現の技術と理論を有する。
- 独自の表現方法の基礎となる、多様な素材や技術に関する能力を有する。
- 社会と関わりながら表現活動を行う能力を有する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学部は、文化芸術の創造・発展に貢献することを教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する創造、表現及びその応用の技術と理論を教育・研究し、地域連携と国際交流を視野に入れ、先見性・創造性・独創性に富む卓越した人材を育成することを目的としています。この目的を達成するため、学科・専攻ごとの特性を最大限に生かした教育課程を次のように編成します。

1. 幅広い教養・知識を修得し、感性豊かな人間性を涵養するとともに、情報化・国際化等に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。
2. 芸術を学ぶ上での教養を身につけ、専門教育の糧となる基礎を修得するため、芸術リテラシーに関する科目、芸術の歴史に関する科目、技術や素材に関する科目で構成する、専門基礎科目を開設します。
3. それぞれの専攻分野について、専門性に特化した必要な知識・理論・技法等を学び、創造性を磨くために、専門科目を開設します。
4. 国内外の古典芸術を実地研究する事により、美術、デザイン・工芸に関する幅広い知見を修得し、各自の研究を深める科目を開設します。
5. 学部4年間の学修・研究・創作活動を総括し、その成果を作品として発表することにより、自らの創作活動を社会へ発信する科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学部では、次のような人の入学を求めています。

1. 創作活動に必要な基礎的な表現力を持ち、それをさらに伸ばしたいと考えている人
2. 独自の表現方法を見つけて自分のものとするために、多様な素材や技術を学びたい人
3. 地域社会や国際交流を通して、社会と関わりながら表現活動を行いたい人

イ 大学院課程

人材育成の目標

広島市立大学大学院は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成するこ

とを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学大学院は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の高度な知識・技能・能力を身につけたうえで研究科が定める審査に合格した学生に対して修了を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学大学院は、それぞれ博士前期課程と博士後期課程を有する3研究科で構成され、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うため、各研究科において、基礎から応用に至る教育課程を編成します。
2. 博士前期課程については、幅広い視野に立った学識を身につけ、高い倫理観を養うことを目的とする全研究科共通科目群を開設します。
3. 博士後期課程については、各研究科の特性に応じた、高度な研究指導を行います。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学大学院は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学研究科

人材育成の目標

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 文化、政治、法律、経済、経営、言語の諸側面の様々な機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会が直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な人材
2. 高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育者・研究者

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身につけたうえで、修士論文あるいは課題研究報告書を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- 学際的な教育課程によって広い視野と各々の専門分野の高度な学識を有する者
- 高い研究能力を修得した者

博士後期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身につけたうえで、博士學位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- 学際的な教育課程によって広い視野と各々の専門分野の極めて高度な学識を有する者
- 研究者として自立できる研究能力を修得した者
- 課程修了見込者および課程修了者と同等以上の学力があると認められ、博士學位請求論文を提出して審査に合格した者

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を基本理念とし、文化、政治、法律、経済、経営、言語の諸側面のさまざまな機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会が直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な人材の養成と、高度で先端的な国際研究にたずさわることのできる教育者・研究者の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

博士前期課程

1. 高い倫理観をもち、幅広い視野に立った学識を身につけるために、研究科独自の開設科目に全研究科共通科目群を組み入れた教育課程とします。
2. 歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭におき、学際的に国際研究に取り組めるように、国際関係研究群、公共政策研究群、経営政策研究群、社会文化研究群、言語文化研究群という多彩な教育・研究内容の授業科目を開設します。

博士後期課程

国際社会の多彩な側面を正確に把握し、多種多様な領域を解明するために、歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭におき、国際社会研究分野と地域研究分野の二つの研究分野から教育課程を編成します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 広い教養を身につけ、世界や地域の様々な課題に関心を寄せている人。
2. 大学院で学ぶ上で必要な読解力、思考力、表現力を備えている人。
3. 本研究科の研究分野に関する基礎知識を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高めようとする人。

(4) 情報科学研究科

人材育成の目標

情報科学研究科は、情報工学及び情報科学分野において、学理の探求と科学技術の発展に貢献するとともに、高度な専門学識、専門技術及び創造力を身につけた人材の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータ及びネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材
2. 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材
3. 広範な価値観のもとでシステム全体の高機能化と協調を図る広い視野をもった研究開発能力を身に付けた人材
4. 分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、高度な専門的技術と理論を修得したうえで、修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

博士後期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、極めて高度な専門的技術と理論を修得したうえで、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学研究科は、以下の分野において、学理の探究と科学技術の発展に貢献するとともに高度な専門学識・技術と創造力を身に付けた人材の育成を理念としています。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

これらの分野において、高度な専門的知識・技能・能力を修得させる教育を実施するために、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野に立った学識を身につけ、高い倫理観を養うため、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技術・技能を養うために、理学・工学を統合する視点から教育課程を編成し、以下の科目を開設します。
 - 基礎から応用までの学識・技術の体系を修得する科目
 - 幅広い専門知識を修得するコア科目
 - 情報科学の最先端事項を修得する科目
 - 高度技術者・研究者の素養を修得する科目（研究成果の学会発表の原則義務化）
 - 創造性と自立性および問題解決能力を育成する科目
 - 産学連携による創造的な人材を育成する科目

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識を養い、高度な研究開発能力および実践的課題解決能力を育成するため、以下の科目を開設します。

- 最先端の極めて高度な学識・技術の体系を修得する科目
- 創造性と自立性の育成、および研究成果の社会的還元を目指す科目
- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人。
2. 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人。
3. 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人。

(ウ) 芸術学研究科

人材育成の目標

芸術学研究科は、文化芸術の創造及び発展をけん引できる、卓越した創作研究能力及び芸術理論に関する高度の専門性を有した人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工

芸に関する卓越した制作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身につけたうえで、以下の修了作品（研究報告書を含む）又は修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において高度な能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して高度な能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を有する。
- 修了作品にあつては、専門的な技術をもち、独創的な表現を追求した作品
- 修士論文にあつては、文献を十分に調査したうえで、独自の洞察を行っている論文

博士後期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身につけるか、それと同等以上の学力があると確認された上で、以下の研究作品及び博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において卓越した能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して卓越した能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する高度な学識と経験を有する。
- 研究作品にあつては、高度に専門的な技術をもち、独創的で卓越した表現を追求したうえで、更なる芸術上の展開が期待できる作品
- 博士学位論文にあつては、適切なテーマを設定し、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行い、的確な構成と表現によって一貫した主張を行っている論文

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学研究科は、文化芸術の創造・発展をけん引することを理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した創作研究、および芸術理論に関する研究の能力を培うことにより、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たし、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目的として、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野から芸術を理解し、深い教養を身につけることができるよう、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技能を養うための科目を開設し、研究指導を行います。
 - 専門的な創作と理論の研究および発表

- 創作を基礎づける理論に習熟するための芸術学関連講義
- 理論構築能力を養う論文作成の演習
- 分野を超えた造形演習や語学演習
- 国際的、社会的な環境における創造に関わる研究実践

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識と高度な研究能力を養うための科目を開設し、研究指導を行います。

- 高度で専門的な創作の研究および発表
- 専門的な理論研究と高度な理論構築能力を養う論文作成の演習
- 専門領域での探究を基に領域を超えた横断的な研究実践

入学者受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

芸術学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 美術、デザイン・工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身につけたい人。
2. 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学びたい人。
3. 芸術理論研究を通して、芸術に対する高度な感性と思考力を身につけ、幅広い芸術文化に関わる専門的な知識・研究能力を身につけたい人。
4. 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身につけたい人。

(2) 特色ある講義科目（平成 29 年度）

科 目 名		学部等	概 要																				
広島・長崎講座（学部授業科目）	ひろしま論	全学共通	・ 広島 の 歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を持った人材を育てる。また、国際平和文化都市広島 の 原点である被爆体験及び広島からの平和の取り組みについて講義する。																				
	平和と人権A （ヒロシマと国際平和）	全学共通	・ 平和と人権の問題を考えるにあたり、特に「平和」の側面に焦点を当て、現代社会におけるその意義、構造、実現するための課題について探求する。 ・ 広島 の 被爆体験を軸に、様々な角度から広島と平和の関連について考える。																				
	広島からの平和学：実践の方法	全学共通	・ 広島からの平和の取り組みに関する一定の基礎知識や関心を持つ学生を対象とし、広島市における平和の取り組みの経験を生かしながら平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶ。 ・ 学内における講義は最小限にとどめ、広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学ぶ。																				
	平和インターンシップ	全学共通	・ 広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。 ※本インターンシップは、前期集中講義「広島からの平和学：実践の方法」の後期日程として、平成 23 年度まで単位なしの課外活動として実施してきたが、内容をより充実させ、平成 24 年度から授業科目化した。																				
	HIROSHIMA and PEACE	国際学部	・ 広島への原爆投下を含む戦時経験について、様々な観点から光を当てるとともに、グローバル化時代における世界平和に関連した今日的課題を取り上げることにより、戦争と平和の本質に対する理解を深める機会を、国内外の学生に提供することを目的として、国際学部と広島平和研究所との協力により、夏期集中講座として開講する。 <table><tr><td></td><td>応募者</td><td>参加者</td></tr><tr><td>H23(2011)</td><td>国外 3 9 名（1 5 カ国） 国内 3 5 名</td><td>国外 2 5 名（8 カ国） 国内 2 6 名</td></tr><tr><td>H24(2012)</td><td>国外 4 6 名（1 4 カ国） 国内 3 8 名</td><td>国外 2 9 名（1 1 カ国） 国内 2 5 名</td></tr><tr><td>H25(2013)</td><td>国外 4 3 名（2 1 カ国） 国内 2 4 名</td><td>国外 1 1 名（7 カ国） 国内 2 3 名</td></tr><tr><td>H26(2014)</td><td>国外 4 0 名（1 4 カ国） 国内 3 1 名</td><td>国外 2 1 名（7 カ国） 国内 2 4 名</td></tr><tr><td>H27(2015)</td><td>国外 4 9 名（1 3 カ国） 国内 2 2 名</td><td>国外 1 6 名（8 カ国） 国内 2 0 名</td></tr><tr><td>H28(2016)</td><td>国外 1 0 1 名（2 6 カ国） 国内 2 6 名</td><td>国外 2 0 名（1 2 カ国） 国内 2 1 名</td></tr></table>		応募者	参加者	H23(2011)	国外 3 9 名（1 5 カ国） 国内 3 5 名	国外 2 5 名（8 カ国） 国内 2 6 名	H24(2012)	国外 4 6 名（1 4 カ国） 国内 3 8 名	国外 2 9 名（1 1 カ国） 国内 2 5 名	H25(2013)	国外 4 3 名（2 1 カ国） 国内 2 4 名	国外 1 1 名（7 カ国） 国内 2 3 名	H26(2014)	国外 4 0 名（1 4 カ国） 国内 3 1 名	国外 2 1 名（7 カ国） 国内 2 4 名	H27(2015)	国外 4 9 名（1 3 カ国） 国内 2 2 名	国外 1 6 名（8 カ国） 国内 2 0 名	H28(2016)	国外 1 0 1 名（2 6 カ国） 国内 2 6 名
	応募者	参加者																					
H23(2011)	国外 3 9 名（1 5 カ国） 国内 3 5 名	国外 2 5 名（8 カ国） 国内 2 6 名																					
H24(2012)	国外 4 6 名（1 4 カ国） 国内 3 8 名	国外 2 9 名（1 1 カ国） 国内 2 5 名																					
H25(2013)	国外 4 3 名（2 1 カ国） 国内 2 4 名	国外 1 1 名（7 カ国） 国内 2 3 名																					
H26(2014)	国外 4 0 名（1 4 カ国） 国内 3 1 名	国外 2 1 名（7 カ国） 国内 2 4 名																					
H27(2015)	国外 4 9 名（1 3 カ国） 国内 2 2 名	国外 1 6 名（8 カ国） 国内 2 0 名																					
H28(2016)	国外 1 0 1 名（2 6 カ国） 国内 2 6 名	国外 2 0 名（1 2 カ国） 国内 2 1 名																					

科 目 名	学部等	概 要
情報と企業 (産学連携による遠隔講座)	全学共通	・ I T技術を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることが目的とする。 ・ (財) 経済広報センターによる教育支援活動の一環として慶応義塾大学に開設された寄附講座を、実時間遠隔講義環境を利用して、同志社大学、京都大学及び広島市立大学の3大学を接続し、広島市立大学から参加できるようにしている。 ・ 実時間遠隔講義環境を通して、講義中の質疑応答等双方向の対話が可能であり、講師及び他の大学の様子等が表示され、また本大学の様子も他の2大学や講師に対して表示される。
創作と人間	全学共通	・ 芸術学部を持った本学の特徴を最大限に生かし、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を作る喜びを伝える。全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養うことを目的とする。 ・ 絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察する。
基礎演習	全学共通	・ 大学での学びに必要な基礎的能力を、入学間もない時期から少人数グループで学修する。 ・ 学部独自のカリキュラムで、情報収集やプレゼンテーションの仕方、レジュメ(要約)等の書き方、そして図書館等の附属施設を効果的に利用する方法などについて、各担当者が工夫して授業を行う。また、教員と学生相互がコミュニケーションを図る機会となり、大学生活全般のオリエンテーションとしても役立っている。 ※国際学部においては、専門基礎科目の「基礎演習Ⅰ」を「基礎演習」に相当する科目としている。
CALL 英語集中 (ネットワーク型集中英語学習プログラム)	全学共通	・ コンピューターネットワークを利用した英語集中学習プログラムにより、リスニング、リーディング、文法を集中的に履修する。 ・ 履修者は、指定された期間中の自分の都合のよい時間に語学センターに来て、ネットワークを通じて配信される教材をコンピューターの指示に従って自分のペースで学習していく。 ・ このプログラムで用意されている教材をすべて消化するには、毎日1時間半程度の学習が必要となる。 ・ プログラムの受講前と受講後にTOEIC IPテストを実施し、英語力及び学習効果を測定する。 ※情報科学部においては、「eラーニング英語」として学修時間を指定して実施している。

(3) 外部資金の獲得状況（平成24年度～28年度）

(7) 科学研究費助成事業（交付決定額）

○平成28年度内訳は、別表「平成28年度科学研究費補助金交付決定内訳」のとおり

（平成29年3月31日現在）

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
基盤研究(A)	1 件	6,400 千円	1 件	6,600 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
基盤研究(B)	8 件	25,800 千円	8 件	29,200 千円	9 件	27,200 千円	9 件	26,100 千円	8 件	31,700 千円
基盤研究(C)	40 件	38,900 千円	43 件	44,800 千円	43 件	46,700 千円	44 件	44,800 千円	39 件	40,460 千円
挑戦的萌芽研究	2 件	1,600 千円	3 件	3,000 千円	5 件	5,200 千円	7 件	7,700 千円	7 件	5,500 千円
若手研究(A)	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	2 件	18,600 千円
若手研究(B)	16 件	14,000 千円	7 件	5,200 千円	10 件	6,800 千円	8 件	5,700 千円	6 件	5,700 千円
新学術領域研究	1 件	11,500 千円	1 件	10,600 千円	1 件	9,400 千円	1 件	10,000 千円	1 件	10,300 千円
研究成果公開促進費	- 件	- 千円	1 件	1,600 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
研究スタート支援	1 件	1,200 千円	1 件	1,100 千円	2 件	1,700 千円	1 件	1,000 千円	- 件	- 千円
合 計	69 件	99,400 千円	65 件	102,100 千円	70 件	97,000 千円	70 件	95,300 千円	63 件	112,260 千円
【参考】間接経費	29,820 千円		30,630 千円		29,100 千円		28,590 千円		33,678 千円	

※交付決定額(直接経費)の件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費及び間接経費を除く。

※参考掲載の間接経費は、本学研究者代表者分である。

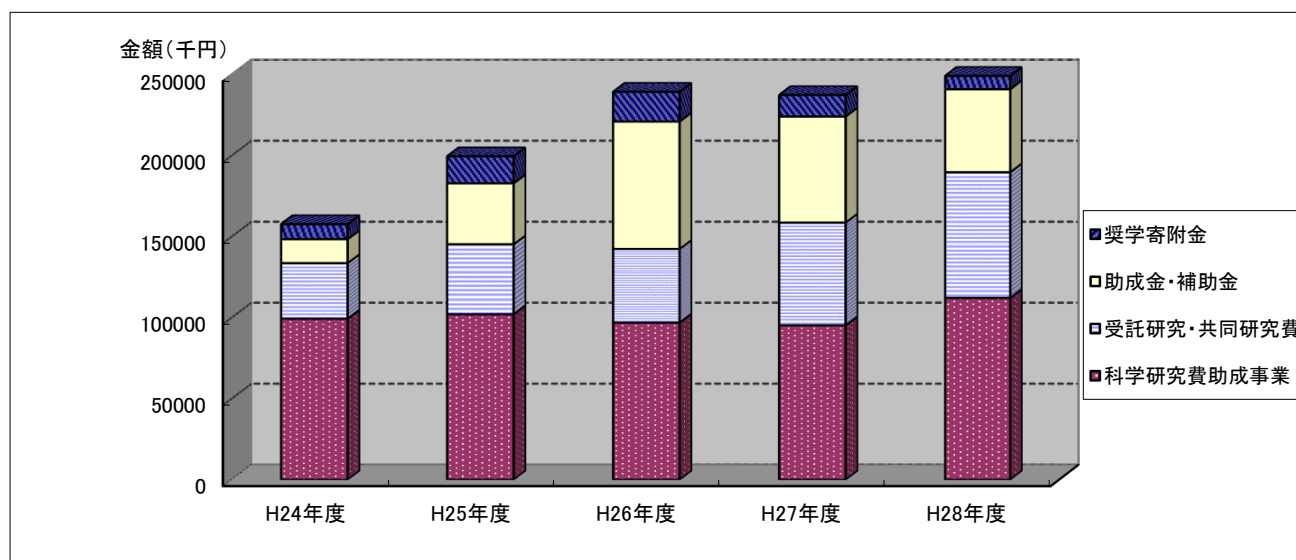
(イ) その他外部資金獲得状況

（平成29年3月31日現在）

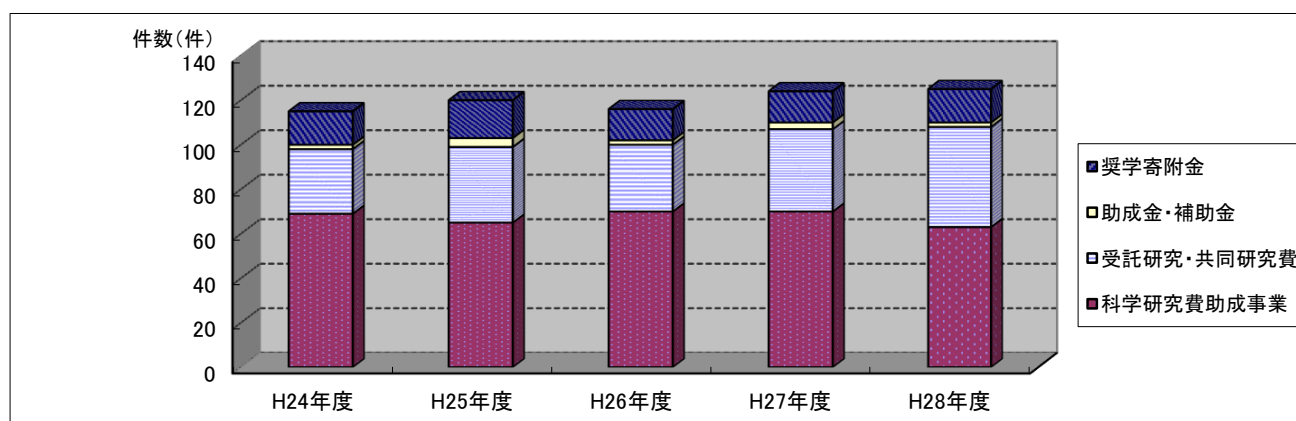
区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
受託研究・共同研究費	29 件	34,324 千円	34 件	43,280 千円	30 件	45,462 千円	37 件	63,457 千円	45 件	77,567 千円
助成金・補助金	2 件	14,751 千円	4 件	37,566 千円	2 件	78,650 千円	3 件	65,420 千円	2 件	51,238 千円
奨学寄附金	15 件	9,278 千円	17 件	16,685 千円	14 件	18,349 千円	14 件	13,279 千円	15 件	8,182 千円
合 計	46 件	58,353 千円	55 件	97,531 千円	46 件	142,461 千円	54 件	142,156 千円	62 件	136,987 千円

※助成金は助成決定額、奨学寄附金は寄附金受入時の年度で整理している。

(ウ) 外部資金獲得金額の推移



(イ) 外部資金獲得件数の推移



(4) 科学研究費補助金の内訳（平成28年度） ※交付内定額は直接経費のみ

① 基盤研究(B) 8件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 岩井 千秋	「英語を英語で」教える高等学校新指導要領が大学英語教育に与える影響	1,800
情報科学研究科 教授 式田 光宏	呼吸器系末梢気道でのその場計測を可能にするカテーテルセンサ技術の開発	4,200
情報科学研究科 教授 日浦 慎作	メゾスケール構造を有する物体表面の高精度なモデリングおよび再現	4,200
情報科学研究科 教授 増谷 佳孝	拡散MRIを用いた生体構造のマルチスケール推定による新しい診断情報の創出	2,400
情報科学研究科 准教授 古川 亮	高輝度小型パターン光源を用いた3次元内視鏡の開発と人体消化器官計測の試み	4,100
情報科学研究科 准教授 三村 和史	非線形観測による推定の新展開	4,700
情報科学研究科 講師 池田 徹志	運転自動化における高齢者の行動分析に基づく運転システムの設計	8,400
芸術学部 名誉教授 服部 等作	ヒマラヤをめぐる展開された密教工芸の造形と表現の研究	1,900

② 基盤研究(C) 39件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 関村 誠	プロティノス美学におけるアイステーシスの位置づけー受容と把握の機能をめぐってー	700
国際学部 准教授 大場 静江	フランスにおけるブルターニュの再話文学の系譜ー『バルサズ＝ブレイス』を中心として	600
国際学部 准教授 金谷 信子	準市場・介護保険サービスにおける営利・非営利事業者比較の実証分析	700
国際学部 准教授 倉科 一希	東西緊張緩和を巡るNATOの対立とジョンソン政権	1,000
国際学部 准教授 西田 竜也	第二次世界大戦における連合国間の協力と限界	800
国際学部 准教授 マイケル ゴーマン	Rural Texts, Global Contexts: Willa Cather's Cosmopolitan Imagination	900
国際学部 講師 シュラトフ ヤロスラフ	東アジアにおける戦間期の秩序とソ連の極東政策:外交官と軍部、中央と地方	1,400
国際学部 准教授 武藤 彩加	味覚語彙における普遍性と相対性に関する研究	900
情報科学研究科 教授 井上 智生	ディペンダブル・サイバーフィジカルシステムを指向した取組みLSIの動作合成法	800
情報科学研究科 教授 岩城 敏	実世界とPCの両者にアクセス可能なハンズフリーインタフェース	1,100
情報科学研究科 教授 鷹野 優	タンパク質構造形成の高次構造依存性の解明と高次構造依存型分子力場の開発	1,500
情報科学研究科 教授 高橋 健一	学生の振舞いに注目した知的学習支援システム	1,500
情報科学研究科 教授 永山 忍	決定グラフに基づく高速なプログラマブルネットワーク侵入検知システムの開発	1,200
情報科学研究科 教授 弘中 哲夫	深層学習を用いた配置配線手法の研究	1,500
情報科学研究科 教授 藤坂 尚登	量子力学的光・テラヘルツ波受信回路の非線形確率微分方程式による記述とモデリング	900

研究代表者(所属・職名・氏名)			研究課題名	交付決定額
情報科学研究科	教授	松原 行宏	タブレット端末とポータブルな力覚デバイスによる仮想実験環境と学習支援システム	1,400
情報科学研究科	教授	李 仕剛	運転者の注意解析に基づく能動的運転補助システム	900
情報科学研究科	教授	若林 真一	次世代超高速イーサネットのためのネットワーク侵入検知ハードウェアに関する研究	800
情報科学研究科	准教授	市原 英行	次世代ストカスティックコンピューティング回路のための3つの要素技術とCAD技術	800
情報科学研究科	准教授	井上 博之	視聴者のコンテキストを判断可能な電子看板とその実時間コンテンツ配信手法	1,300
情報科学研究科	准教授	岩田 一貴	形状記述子としての距離集合とその改良	800
情報科学研究科	准教授	大田 知行	無線ネットワークのための自律分散クラスタリングを用いた弾力的な通信経路選択技術	1,000
情報科学研究科	准教授	末松 伸朗	ガウス過程に基づく確率モデルベース画像処理技術の新展開	500
情報科学研究科	准教授	内田 智之	グラフ文法圧縮データからの省メモリ高速グラフマイニング手法の開発	800
情報科学研究科	准教授	小寄 貴弘	家庭用水道を主導力とする水圧人工筋駆動式パワーアシストの開発	2,100
情報科学研究科	准教授	双紙 正和	ハッシュ連鎖の柔軟な構成法およびそれを応用した軽量認証法の研究	660
情報科学研究科	准教授	高野 知佐	スペクトル分析と射影追跡法を融合した大規模ユーザネットワークの視覚的分析技術	1,100
情報科学研究科	准教授	高橋 賢	ISDB-T地上デジタルテレビ放送における緊急警報放送信号の待機受信方法	1,100
情報科学研究科	准教授	田村 慶一	大規模ソーシャル画像データを用いた動向情報の時空間分析に関する研究	700
情報科学研究科	准教授	宮原 哲浩	強力な表現能力を持つグラフ構造パターンによるグラフ構造データからの深層知識の発見	900
情報科学研究科	准教授	小畑 博靖	無線LANネットワークにおける改造端末の検出と制御を統一的に行う通信品質制御技術	1,700
情報科学研究科	講師	岡本 勝	ヘッドマウントディスプレイを活用した誇張現実型化学実験学習支援システム	1,000
情報科学研究科	講師	神尾 武司	マルチエージェント強化学習による実航路の改善	1,500
情報科学研究科	講師	馬場 雅志	実シーンのライトフィールドと仮想物体とのCG画像合成に関する研究	1,400
情報科学研究科	助教	高橋 雄三	自発的・持続的な学習を誘う良いエクスペリエンスを醸成する情報提示方法に関する研究	900
情報科学研究科	助教	中山 仁史	音響的クラスタリングによる骨伝導音の明瞭性改善に関する研究	700
情報科学研究科	助教	目良 和也	発話内容と口調の食い違い検出に基づく話者の心理状態の推定	600
平和研究所	准教授	河上 暁弘	歴史・平和教育と平和博物館論の課題ー「歴史・平和	1,200
平和研究所	准教授	竹本 真希子	20世紀ドイツのジャーナリズムによる平和主義世論の形成に関する研究	1,100

③ 挑戦的萌芽研究 7件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)			研究課題名	交付内定額
国際学部	教授	曾根 幹子	戦前の日伯スポーツ交流が1964年東京五輪の招致決定に与えた影響	800
国際学部	教授	渡辺 智恵	英語eラーニングでの自律的学習促進ツールとしての学習履歴データの活用に関する研究	500
情報科学研究科	教授	石光 俊介	聴覚障がい者の発声支援のための振動フィードバックシステムの開発	800
情報科学研究科	教授	三村 和史	圧縮センシングのダンピング付き反復再構成法の解析と応用	900
情報科学研究科	准教授	岩根 典之	デジタル教材における説明支援に関する研究	800
情報科学研究科	助教	稲葉 通将	人狼ゲーム研究:他者中の自己モデルを考えた説得的人工知能の開発に向けて	800
芸術学部	名誉教授	服部 等作	王座とその象徴性の基礎研究	900

④ 若手研究(A) 2件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 助教 稲葉 通将	対話的アプローチによる価値観の獲得に関する研究	10,300
情報科学研究科 助教 脇田 航	身体知解析に基づく複合現実型技能伝承システムの構築	8,300

⑤ 若手研究(B) 6件

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 准教授 ト部 匡司	三分岐型から二分岐型への中等学校制度再編に伴うドイツ教育評価制度の変容	500
国際学部 准教授 山根 史博	ヘドニック二次分析の内生性問題に対する新アプローチ:原発事故の厚生分析への適用	400
国際学部 准教授 古澤 嘉朗	平和構築における法の多元性に関する研究ー治安部門改革(支援)に着目して	700
情報科学研究科 助教 岩垣 剛	フィールドでの一時故障への耐性重視した非同期式回路の高信頼設計に関する研究	800
情報科学研究科 助教 齋藤 徹	金属酵素の反応活性と動的構造変化の理論的研究	2,100
芸術学部 講師 有持 旭	エストニア・アニメーションにおけるシュルレアリスム受容の調査研究	1,200

⑥ 新学術領域研究 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 教授 鷹野 優	分子シミュレーションによる生体活性サイトの構造・機能相関の解明とデザイン	10,300

63 件 112,260 千円

基盤研究:1人で行う研究または複数の研究者が共同して行う創造的・先駆的な研究

挑戦的萌芽研究:独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究

若手研究:37歳以下の研究者が1人で行う研究

新学術領域研究:我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域

⑦ 平成27年度科学研究費補助金採択状況（公立大学分）

（新規採択＋継続分）

○交付決定額順

（金額単位：千円）

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
1	首都大	475	966,900	279,930	1,246,830
2	大阪府大	445	839,954	241,742	1,081,696
3	大阪市大	441	832,000	248,000	1,080,000
4	横浜市大	337	611,993	182,098	794,091
5	名古屋市大	385	572,191	170,550	742,741
6	京都医大	296	466,500	139,080	605,580
7	兵庫県大	253	427,450	128,235	555,685
8	札幌医大	216	263,700	79,110	342,810
9	奈良医大	185	262,290	78,207	340,497
10	福島医大	185	266,100	54,702	320,802
11	静岡県大	148	231,150	66,975	298,125
12	和歌山医大	206	204,200	80,940	285,140
13	京都府大	98	179,600	51,120	230,720
14	秋田県大	99	140,400	42,120	182,520
15	高知工科大	59	123,429	35,836	159,265
16	富山県大	63	111,100	33,330	144,430
17	愛知県大	90	97,600	28,470	126,070
18	滋賀県大	82	97,000	27,000	124,000
19	広島市大	73	95,300	28,590	123,890
20	県立広島大	94	91,800	27,540	119,340
21	九州歯大	32	90,800	27,200	118,000
22	高知県大	67	78,950	23,685	102,635
23	岐阜薬大	42	76,600	21,510	98,110
24	北九州市大	62	71,500	20,640	92,140
25	埼玉県大	65	67,600	20,420	88,020
26	岡山県大	56	64,000	19,000	83,000
27	宮城大	58	62,500	18,750	81,250
28	石川県大	31	58,800	17,340	76,140
29	公立はこだて大	33	52,800	15,570	68,370
30	茨城医療大	39	51,500	15,450	66,950
31	岩手県大	47	49,000	15,000	64,000
32	新潟県大	24	40,750	12,225	52,975
33	熊本県大	37	39,580	11,274	50,854
34	福井県大	39	35,210	15,090	50,300
35	会津大	33	37,800	10,260	48,060
36	長崎県大	32	34,779	12,833	47,612
37	福岡女大	34	37,500	9,450	46,950
38	神戸市外大	34	35,100	10,080	45,180
39	大分看科大	20	34,600	10,380	44,980
40	福岡県大	34	34,000	10,200	44,200
41	神戸市看大	28	31,000	9,300	40,300
42	札幌市大	32	30,500	9,150	39,650
43	島根県大	26	28,800	8,640	37,440
44	京都芸大	20	29,000	8,400	37,400
45	神奈川保福大	28	27,800	8,488	36,288
46	石川看大	24	27,700	8,310	36,010
47	山梨県大	22	28,000	7,890	35,890
48	千葉保医大	28	26,200	7,860	34,060
49	三重看大	25	25,400	7,620	33,020
50	前橋工大	17	20,000	6,000	26,000
51	福山市大	14	18,600	5,580	24,180
52	青森保健大	16	16,900	5,070	21,970
53	長野看大	19	16,950	4,785	21,735

○交付決定額順

(金額単位：千円)

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
54	都留文大	15	16,500	4,950	21,450
55	静岡文芸大	14	16,000	4,800	20,800
56	金沢美大	8	15,200	4,560	19,760
57	山口県大	21	15,008	4,502	19,510
58	山形保医大	16	15,000	4,500	19,500
59	愛媛医技大	19	16,645	2,490	19,135
60	群馬健科大	22	14,550	4,365	18,915
61	沖縄看大	14	14,000	4,000	18,000
62	香川保医大	12	13,700	4,110	17,810
63	下関市大	18	12,700	3,810	16,510
64	名桜大	14	12,500	3,750	16,250
65	山口東京理大	13	11,600	3,480	15,080
66	高崎経大	12	10,000	3,000	13,000
67	岐阜看大	14	9,950	2,985	12,935
68	新潟看大	16	9,900	2,970	12,870
69	国際教養大	11	9,400	2,460	11,860
70	奈良県大	25	9,155	2,555	11,710
71	公立鳥取環大	10	8,800	2,640	11,440
72	沖縄芸大	7	7,313	1,920	9,233
73	釧路公大	9	7,099	2,130	9,229
74	産技院大	4	6,900	2,040	8,940
75	青森公大	7	6,050	1,815	7,865
76	名寄市大	9	6,000	1,800	7,800
78	尾道市大	10	5,600	1,680	7,280
79	敦賀市看大	4	5,100	1,530	6,630
80	長岡造形大	4	5,503	1,098	6,601
81	情科芸院大	4	4,100	1,230	5,330
82	宮崎公大	5	3,900	1,170	5,070
83	米沢栄養大	4	3,700	1,110	4,810
84	秋田公美大	5	3,350	1,005	4,355
85	群馬女大	4	3,100	930	4,030
86	福知山公大	2	2,300	690	2,990
87	新晃公大	6	1,920	576	2,496
88	宮崎看大	2	1,600	480	2,080

※平成27年度、日本学術振興会から交付決定された内定情報が対象(当年度の転出情報を含む。転入情報は含まない。)

(5) 研究開発費助成制度等の採択状況

《平成 28 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域 I C T 型研究開発]（総務省）

【平成 27 年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣

研究課題：訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

平成 28 年度：5,252,000 円

◆平成 28 年度大学間連携共同教育推進事業運営交付金（文部科学省）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
（平成 24 年度から 5 年間）

平成 28 年度：6,408,000 円

◆平成 28 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝

プログラム名：ひろしま医工学ウィンタースクール

平成 28 年度：4,440,000 円

◆平成 28 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【平成 27 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

（平成 27 年度から 5 年間）

平成 28 年度：46,798,000 円

《平成 27 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域 I C T 型研究開発]（総務省）

【平成 27 年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣

研究課題：訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

平成 27 年度：2,028,000 円

◆平成 27 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
（平成 24 年度から 5 年間）

平成 27 年度：9,750,000 円

◆平成 27 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名 : 大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

(平成 25 年度から 3 年間)

平成 27 年度 : 4,207,000 円

◆平成 27 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【平成 27 年度採択】

プログラム名 : 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

(平成 27 年度から 5 年間)

平成 27 年度 : 52,513,000 円

《平成 26 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 I C T 型研究開発]（総務省）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題 : 広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究
開発

(平成 25 年度から 2 年間)

平成 26 年度 : 9,243,000 円

◆平成 26 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成

(平成 24 年度から 5 年間)

平成 26 年度 : 12,600,000 円

◆平成 26 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名 : 大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

(平成 25 年度から 3 年間)

平成 26 年度 : 4,207,000 円

《平成 25 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[I C T イノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

研究課題 : アシユアランスネットワーク設計原理に基づいた平常時災害時両用
システムの研究開発

平成 25 年度 : 4,596,800 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 I C T 型研究開発]（総務省）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究
開発

（平成 25 年度から 2 年間）

平成 25 年度：11,350,300 円

◆平成 25 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
（平成 24 年度から 5 年間）

平成 25 年度：14,000,000 円

◆平成 25 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
（平成 25 年度から 3 年間）

平成 25 年度：6,390,000 円

《平成 24 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[I C T イノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 24 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4 次元メディアシステムの研究開発

（平成 22 年度から 3 年間）

平成 24 年度：8,320,000 円

◆平成 24 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 24 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
（平成 24 年度から 5 年間）

平成 24 年度：13,000,000 円

《平成 23 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[I C T イノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4 次元メディアシステムの研究開発

（平成 22 年度から 3 年間）

平成 23 年度：7,540,000 円

◆平成 23 年度大学改革推進等補助金（文部科学省）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

研究課題：医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

平成 23 年度：23,000,000 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～
（平成 21 年度から 3 年間）

平成 23 年度：6,763,100 円

《平成 22 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 石田 賢治

研究課題：超高速衛星回線を有効利用する基盤技術の研究開発
（平成 21 年度から 2 年間）

平成 22 年度：11,196,900 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[若手 ICT 研究者育成型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 講師 福田 浩士

研究課題：脳の感覚運動変換メカニズムの解明に関する研究開発
（平成 20 年度から 2 年間）

平成 22 年度：2,871,700 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICT イノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4 次元メディアシステムの研究開発
（平成 22 年度から 3 年間）

平成 22 年度：6,890,000 円

◆平成 22 年度大学改革推進等補助金（文部科学省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

研究課題：医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

平成 22 年度：18,460,000 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～
（平成 21 年度から 3 年間）

平成 22 年度：7,074,100 円

《平成 21 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 教授 前田 香織

研究課題：モビリティ技術を活用した国際都市ホスピタリティ向上に関する研究
開発

（平成 20 年度から 2 年間）

平成 21 年度：9,726,600 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[若手 ICT 研究者育成型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 講師 福田 浩士

研究課題：脳の感覚運動変換メカニズムの解明に関する研究開発

（平成 20 年度から 2 年間）

平成 21 年度：4,386,200 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 教授 石田 賢治

研究課題：超高速衛星回線を有効利用する基盤技術の研究開発

（平成 21 年度から 2 年間）

平成 21 年度：12,052,300 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～

（平成 21 年度から 3 年間）

平成 21 年度：7,776,000 円

(6) F D ・ S D 活動実施状況（平成28年度）

内 容	年 月 日	テーマ／講師
新任教職員 F D ・ S D 研修会 ①参加者数：20名 ②場所：大会議室	平成28年4月6日	理事長講話 ／青木理事長 教職員の服務について ／塩田理事（事務局長） 大学紹介 ／若林理事 事務局の概要 ／加茂主査 学内視察
前期授業アンケート ①受講登録者数：16,250人 ②回答者数：12,282人 （回答率：75.5%）	平成28年7月4日 ～10月4日	
SD研修（文書事務研修）	平成28年5月27日	文書作成事務について／広島市企画総務局法務課 課長 大杉薫
立替払い等の契約事務について	平成28年7月25日、 8月8日 （8月25日～9月9日 追加開催（動画））	立替払い等の契約事務について／浅野主事（経営グループ）
科研費獲得研修会 ①参加者数：63名 ②場所：講堂小ホール	平成28年8月9日	本学の外部資金の獲得状況について／若林理事 私の科研費・外部資金獲得法／ト部准教授（国際学部）、稲葉助教（情報科学研究科）、有持講師（芸術学部） 本学の科研費獲得支援制度について／日浦教授（研究担当副理事）
全学COC＋研修会 ①参加者数98名 ②場所：講堂小ホール	平成28年10月26日	「200万人広島都市圏構想の実現に向けて」／広島市企画調整部 部長 阪谷幸春 「COC＋の実施状況について」／國本特任教授（社会連携センター）
障害者差別解消法の概要と障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員の対応について	平成28年11月10日、 11月30日	障害者差別解消法の概要について／広島市健康福祉局障害福祉課 主幹 野口美紀 広島市立大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領について／岡崎学生支援室長

内 容	年月日	テーマ／講師
広島市立大学を取り巻く環境について ～変化が加速する、大学改革・高大接続改革・グローバル化・国際標準化～	平成28年11月24日	広島市立大学を取り巻く環境について／株式会社進研アド 改革支援部長 百々岳夫
危機管理研修会 ①参加者数：28名 ②場所：講堂小ホール	平成28年12月1日	災害対策について／安佐南消防署 予防課長 佐伯哲陽
研究不正防止・倫理研修会 ①参加者数：45名 ②場所：講堂小ホール	平成28年12月2日	「研究不正の防止と信頼される研究活動」／大阪大学全学教育推進機構 准教授 中村征樹
知的財産権について ①参加者数：58名 ②場所：講堂小ホール	平成28年12月2日、6日 12月3日	知的財産権について／島筒特任講師（社会連携センター）
情報セキュリティセミナー ①参加者数：71名 ②場所：講堂小ホール	平成29年1月26日	「公立大学法人広島市立大学情報セキュリティポリシー」について／大歳主事（教育研究支援グループ） 「自分で守ろう！情報セキュリティ」-脅威から身を守る術／勝部情報処理教務員（教育研究支援グループ）
大学におけるハラスメントの防止と効果	平成29年1月31日	大学におけるハラスメントの防止と対策／広島大学ハラスメント相談室 室長（教授） 横山美栄子
第2回全学COC＋研修会 ①参加者数：79名 （COC+参加大学5名を含む） ②場所：講堂小ホール	平成29年3月6日	「大学が地域といかに関わるかー広島修道大学の地域志向教育プログラムの実践からー」／広島修道大学 ひろしま未来協創センター次長・人間環境学部 教授 三浦浩之
後期授業アンケート ①受講登録者数：14,553人 ②回答者数10,546人 （回答率：72.5%）	平成28年1月12日～ 平成29年2月23日	

3 入学試験

(1) 入学試験の概要

ア 学部（平成30年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	学 部	試験科目等	備 考
前期日程	60	国際学部	小論文	本学が指定する科目について大学入試センター試験の受験を課す。
	130	情報科学部	数学、外国語、理科	
	50	芸術学部 美術学科油絵専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
後期日程	20	国際学部	総合問題	
	40	情報科学部	数学	
	27	芸術学部 美術学科日本画専攻 美術学科彫刻専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
合計	327	(内訳 国際学部 80 情報科学部 170 芸術学部 77)		

◇特別入試

試験区分		募集人員	学 部	試験科目等	備 考
推薦入試	市内公募	10	国際学部	小論文、面接	市内公募:入学時の1年以上前から広島市に住所を有している者
	全国公募	10			
	市内公募	20	情報科学部	総合問題、面接	
	全国公募	20			
自己推薦入試		3	芸術学部 美術学科彫刻専攻	自己アピール資料、実技、面接	自己アピール資料は出願時に提出
外国人留学生入試		若干名	国際学部	小論文、面接	①本学が指定する科目について日本留学試験の受験を課す。 ②TOEIC [®] の受験を課す。(芸術学部のみ)
		若干名	情報科学部	数学、面接	
		若干名	芸術学部	実技検査、面接	
合計		63	(内訳 国際学部 20 情報科学部 40 芸術学部 3)		

◇編入学試験

試験区分	募集人員	学 部	試験科目等	備 考
一般入試	若干名	情報科学部	面接	TOEIC [®] の受験を課す。

イ 大学院（平成30年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備 考
博士前期課程	15	国際学研究科	外国語、共通問題及び専門問題、口述試験	平成29年10月入学有り (募集人員:若干名) TOEIC®の受験を課す。 (情報科学研究科のみ)
	47	情報科学研究科	外国語、専門基礎科目、専門科目、面接 ※実施科目は専攻によって異なる	
	30	芸術学研究科	外国語 作品提出又は論文 実技、プレゼンテーション又は筆記試験 口述試験 ※実施科目は志望研究室によって異なる	
博士後期課程	7	国際学研究科	外国語、専門問題、口述試験	平成29年10月入学有り (募集人員:若干名)
	28	情報科学研究科	専門科目、口述試験	
	6	芸術学研究科	外国語、作品提出、口述試験、小論文	
合計	133	(内訳 博士前期課程 92 博士後期課程 41)		

◇特別入試

試験区分		募集人員	研究科	試験科目等	備 考
博士 前期 課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	共通問題、小論文、口述試験	平成29年10月入学有り (募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	面接	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
	推薦入試	37	情報科学研究科	面接	TOEIC [®] の受験を課す。
博士 後期 課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	外国語、専門科目、口述試験	平成29年10月入学有り (募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	口述試験	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
合計		37＋若干名（内訳 博士前期課程 37＋若干名 博士後期課程 若干名）			

(2) 入学試験実施状況（平成29年度入試）

ア 学部1年次入学

・入学試験実施状況

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)
国際学部	国際学科	人 100	人 573	人 423	人 125	人 110	倍 3.4
情報科学部	情報工学科	210	966	572	270	229	2.1
	知能工学科						
	システム工学科						
	医用情報科学科						
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	36	30	13	2.3
		油絵専攻	20	63	61	24	2.3
		彫刻専攻	10	24	19	11	1.5
	デザイン工芸学科		40	249	180	47	3.8
	計		80	372	290	99	2.9
合 計		390	1,911	1,285	494	429	2.6

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学 部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒・他
国際学部	人 110	人 35	人 75	人 32	人 27	人 51	人 100	人 10
情報科学部	229	186	43	104	45	80	204	25
芸術学部	90	15	75	30	9	51	63	27
合 計 (構成比)	429	236 (55.0%)	193 (45.0%)	166 (38.7%)	81 (18.9%)	182 (42.4%)	367 (85.5%)	62 (14.5%)

イ 学部3年次編入学

・入学試験実施状況

学 部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)
情報科学部	情報工学科	人 若干名	人 -	人 -	人 -	人 -	倍 -
	知能工学科	若干名	-	-	-	-	-
	システム工学科	若干名	1	1	0	0	-
	医用情報科学科	若干名	-	-	-	-	-
	合 計	若干名	1	1	0	0	-

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒他
情報科学部	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -

ウ 大学院（博士前期課程 平成29年4月入学分）

・入学試験実施状況

研 究 科	専 攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究科	国際学専攻	人 15	人 12 (6)	人 12 (6)	人 10 (4)	人 10 (4)
情報科学研究科	情報工学専攻	23	(0) 30	(0) 26	(0) 24	(0) 22
	知能工学専攻	23	(0) 15	(0) 15	(0) 14	(0) 13
	システム工学専攻	23	(2) 23	(2) 22	(2) 22	(2) 21
	医用情報科学専攻	15	(0) 5	(0) 5	(0) 5	(0) 4
	計	84	(2) 73	(2) 68	(2) 65	(2) 60
芸術学研究科	造形芸術専攻	30	(6) 32	(6) 30	(3) 26	(3) 25
合 計		129	(14) 117	(14) 110	(9) 101	(9) 95

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究科及び情報科学研究科の募集人員は、平成29年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学別、卒業年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学		卒 業 年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究科	人 10	人 6	人 4	人 6	人 4	人 5	人 5
情報科学研究科	60	55	5	57	3	59	1
芸術学研究科	25	10	15	20	5	21	4
計	95	71	24	83	12	85	10

エ 大学院（博士後期課程 平成29年4月入学分）

・入学試験実施状況

研 究 科	専 攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究科	国際学専攻	人 7	人 2 (1)	人 2 (1)	人 2 (1)	人 1 (1)
情報科学研究科	情報科学専攻	28	(2) 3	(2) 3	(2) 3	(2) 3
芸術学研究科	総合造形芸術専攻	6	(1) 8	(1) 8	(1) 8	(1) 8
合 計		41	(4) 13	(4) 13	(4) 13	(4) 12

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究科及び情報科学研究科の募集人員は、平成29年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学院別、修了年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学院		修 了 年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究科	人 1	人 -	人 1	人 -	人 1	人 -	人 1
情報科学研究科	3	3	-	2	1	2	1
芸術学研究科	8	2	6	8	-	7	1
計	12	5	7	10	2	9	3

(3) 年次別競争率等（平成20年度～29年度入試）

ア 年次別競争率

（単位：倍）

区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
国際学部	推薦入試	1.9	2.8	2.1	1.8	2.3	2.2	1.9	1.9	2.0	2.4
	一般入試 前期日程	3.2	3.0	3.7	3.5	1.9	3.3	2.3	3.0	2.1	3.3
	一般入試 後期日程	5.2	5.9	5.6	5.0	3.8	5.3	3.3	4.1	4.0	5.5
情報科学部	推薦入試	1.9	1.5	1.8	1.8	1.7	2.1	1.9	2.1	1.8	1.8
	一般入試 前期日程	2.0	3.2	2.6	2.1	3.4	3.4	2.4	3.1	2.5	1.8
	一般入試 後期日程	3.0	4.9	3.7	5.9	4.0	6.7	2.4	4.7	4.0	3.1
芸術学部	彫刻専攻 自己推薦入試					4.4	3.8	2.8	3.5	3.0	1.5
	一般入試	2.8	2.6	2.0	2.3	2.5	2.4	2.3	3.0	2.8	3.0

イ 特別入試入学者数

（単位：人）

区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
国際学部	推薦入試	28	26	27	25	25	22	25	26	25	25
	外国人留学生入試	4	1	3	3	6	5	7	1	4	9
情報科学部	推薦入試	42	42	45	50	45	49	47	46	44	44
	外国人留学生入試	—	—	2	3	2	2	2	1	1	1
芸術学部	彫刻専攻自己推薦入試					5	4	4	4	4	4
	外国人留学生入試	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	推薦入試	70	68	72	75	70	71	72	72	69	69
	彫刻専攻自己推薦入試					5	4	4	4	4	4
	外国人留学生入試	4	1	5	6	8	7	9	2	5	10

ウ 編入学者数

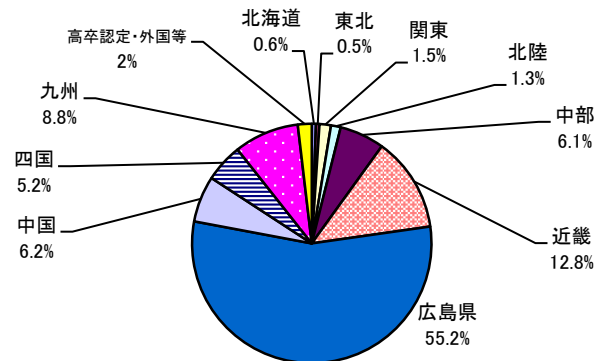
（単位：人）

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
募 集 人 員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
受 験 者 数	15	8	8	12	6	1	2	4	1	1
入 学 者 数	2	2	4	2	2	0	1	1	0	0

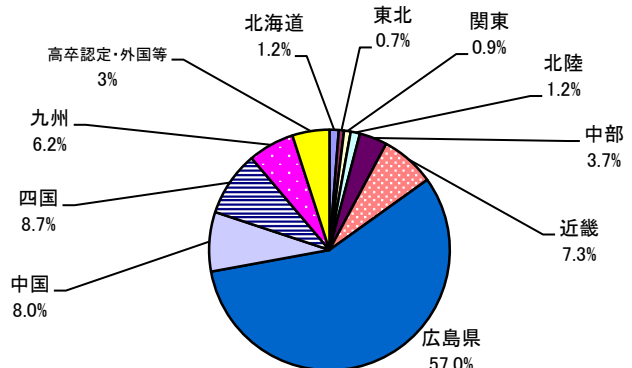
(4) 入学者の状況
出身都道府県別内訳（平成25年度～29年度 学部）

出身地域		人数	内訳			
			国際学部	情報科学部	芸術学部	
北海道地方		12	7	2	3	
東北地方	青森県	0	0	0	0	
	岩手県	1	0	1	0	
	宮城県	8	4	2	2	
	秋田県	0	0	0	0	
	山形県	0	0	0	0	
	福島県	1	0	1	0	
	小計	10	4	4	2	
関東地方	茨城県	6	2	1	3	
	栃木県	5	2	3	0	
	群馬県	1	0	0	1	
	埼玉県	3	0	0	3	
	千葉県	1	0	1	0	
	東京都	11	1	3	7	
	神奈川県	6	0	1	5	
	小計	33	5	9	19	
北陸地方	新潟県	1	0	1	0	
	富山県	7	1	5	1	
	石川県	5	0	4	1	
	福井県	15	6	9	0	
	小計	28	7	19	2	
中部地方	山梨県	3	0	3	0	
	長野県	5	1	3	1	
	岐阜県	19	3	13	3	
	静岡県	40	6	25	9	
	愛知県	62	11	42	9	
	小計	129	21	86	22	
近畿地方	三重県	29	4	19	6	
	滋賀県	19	1	13	5	
	京都府	48	7	18	23	
	大阪府	63	10	32	21	
	兵庫県	81	12	55	14	
	奈良県	20	3	5	12	
	和歌山県	13	4	8	1	
	小計	273	41	150	82	
中国地方	鳥取県	8	2	5	1	
	島根県	38	7	28	3	
	岡山県	42	24	7	11	
	広島県	1,177	321	679	177	
	山口県	45	12	19	14	
	小計	1,310	366	738	206	
四国地方	徳島県	12	6	2	4	
	香川県	46	22	13	11	
	愛媛県	39	12	23	4	
	高知県	13	9	2	2	
	小計	110	49	40	21	
九州地方	福岡県	61	4	23	34	
	佐賀県	17	4	7	6	
	長崎県	30	7	13	10	
	熊本県	21	2	7	12	
	大分県	14	2	10	2	
	宮崎県	13	6	4	3	
	鹿児島県	26	7	10	9	
	沖縄県	5	3	2	0	
	小計	187	35	76	76	
高卒認定・外国等		40	28	8	4	
合 計		2,132	563	1,132	437	

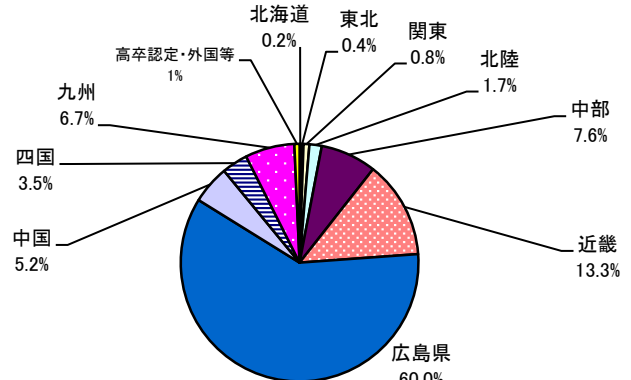
学生の出身地別(全体)



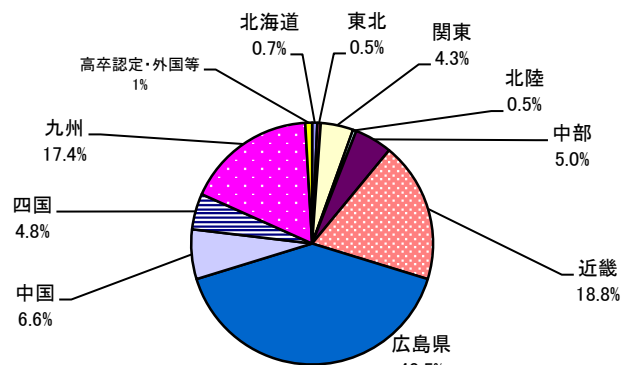
学生の出身地別(国際学部)



学生の出身地別(情報科学部)



学生の出身地別(芸術学部)



(5) 社会人入試（大学院）の状況

◆ 国際学研究科（平成 29 年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において 3 年以上の職歴又はその他の経験（例えば主婦、ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 筆記試験、口述試験

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において 3 年以上の職歴又はその他の経験（例えば主婦、ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 筆記試験、口述試験

◆ 情報科学研究科（平成 29 年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して 2 年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 面接

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して 2 年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 社会人入試による入学者数（平成 24～28 年度）

単位：人

区 分			H24	H25	H26	H27	H28
国際学研究科	博士前期課程	4 月入学	0	2	1	3	2
		10 月入学	0	1	2	0	0
	博士後期課程	4 月入学	2	0	0	0	0
		10 月入学	0	0	0	0	1
情報科学研究科	博士前期課程	4 月入学	0	0	0	0	1
		10 月入学	1	0	0	0	0
	博士後期課程	4 月入学	1	0	0	0	2
		10 月入学	1	0	1	0	0

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況

《平成 28 年度》

※学年は受賞当時

◆印は学生表彰受賞者

国際学部・国際学研究科

◆国際学部 4 年 額田晟太

留学先である中国の西南大学において、西南大学国際学院主催の「漢語之星」スピーチ大会で上級の最優秀賞を受賞した業績。受賞により本学の教育の水準の高さを示すとともに、大学の名声を向上させることに貢献した。更に 1 年間の留学期間で漢語水平試の 6 級に合格した実績は評価に値する。

◆国際学部 4 年 三好花奈

核問題に関する国際平和活動や被爆三世の立場から核廃絶の発信を継続的に行っており、オバマ米国大統領の広島訪問にあたりニューヨークタイムズ取り上げられた功績は評価される。また、優れた語学力を認められオバマ米国大統領の平和記念公園訪問時にニューヨークタイムズの取材助手を務めた。これらの広島市立大学の学生として行って来た活動は、大学の名声を高めることに寄与したものである。加えて本学が実施した「日露青年フォーラム」において尽力した功労は大いに評価される。

□国際学部 3 年 角田大河

□国際学部 2 年 井上大輝

全国の高校生から大学院生までを対象にした広島県主催の「若者ビジネスコンテスト 2016 Business Creation! Hiroshima (通称『びっくり! 広島』)」で、「最優秀賞」を受賞した。

情報科学部・情報科学研究科

◆情報科学研究科システム工学専攻 2 年 花房祐貴

◆情報科学研究科システム工学専攻 2 年 岡田淳司

◆情報科学研究科システム工学専攻 1 年 網本勇樹

学生によるベンチャービジネスのアイデア・事業プランを競い合い、日本の次代を担う若者の人材育成と新産業の創造を目的とした「第 14 回キャンパスベンチャーグランプリ 中国大会」において、特別賞である日刊工業新聞社賞を受賞した。中国大会のサイトにおいては、第 14 回の選考結果及び表彰式の様子が掲載され、これに加えて平成 28 年 1 月 20 日付の日刊工業新聞には受賞記事が掲載され、広島市立大学の名称を広く知らせていることに貢献したものである。

◆情報科学部知能工学科4年 杉原 穂

◆情報科学部医用情報科学科4年 山本茉歩

本学が平成26年度から実施している特待生制度において、2年生から4年生までの3年間、連続して特待生に選出される業績を残した。学業に対する弛まぬ努力と、その結果となった特待生連続選出は、他の学生の範とするところであり、継続的な努力の結果が与える影響は顕著である。

◆情報科学研究科（博士後期課程）情報科学専攻3年 飯島聡志

未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会が主催する「未来博士3分間コンペティション2016」において、最優秀賞を受賞した業績。同運営協議会のサイトにおいて受賞内容が公開されており、本学の研究活動を広く知らせることに貢献したことは評価できる。

◆情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 山本彩斗

積極的な研究の取り組みから「第18回IEEE・HISS広島支部学生シンポジウム」において、HISS最優秀プレゼンテーション賞を受賞した。また、協同受賞ではあるものの「電子情報通信学会中国支部学生会 学生ケータイあわ〜ど2015」で学生会特別賞も受賞している。

□情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 中村貴史

「平成27年度電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会」での「研究奨励賞」を受賞した。

□情報科学部システム工学科4年 早川達也

□情報科学部システム工学科4年 Do Nhat Pham

2016年8月に、「平成28年電気学会『電子・情報・システム部門大会』」の学生ポスターセッションにおいて、「優秀ポスター賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻1年 吉村大二郎

2016年9月、「SICE Annual Conference 2016」で、「Finalist in the SICE Annual Conference Young Author's Award」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻1年 大瀬和也

2016年9月、「第15回情報科学技術フォーラム（FIT2016）」で、「FIT奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻2年 小林啓太

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 谷隆磨

2016年9月、「電子情報通信学会ソサイエティ大会（BS-3ネットワーク技術特別ポスターセッション）」で、「ネットワークソフトウェア優秀ポスター賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）創造科学専攻2年 河岡秀宜

2016年10月、「第33回『センサ・マイクロマシンと応用システム』シンポジウム」で、「奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻2年 山本啓輔

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 曾根將

□情報科学部情報工学科3年 寺本圭吾

2016年11月、「第18回IEEE広島支部学生シンポジウム（HISS）」で、「HISS優秀研究賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 山本彩斗

2016年11月、「第18回IEEE広島支部学生シンポジウム（HISS）」で、「HISS優秀プレゼンテーション賞」を受賞した。

□情報科学部システム工学科4年 早川達也

□情報科学部システム工学科4年 山本智之

「平成28年度（第67回）電気・情報関連学会中国支部連合大会」で、「電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞」と「電気学会中国支部奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻2年 新谷隆文

2016年12月、「第9回インターネットと運用技術シンポジウム」で、「IOTS2016 フォーティネット賞」（企業冠賞）を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻2年 奥田涼

□情報科学部情報工学科4年 山下裕司

□情報科学部情報工学科4年 能勢陽平

□情報科学部情報工学科4年 三宅雄介

□情報科学部情報工学科3年 寺本圭吾

「第7回ユニーク自作チップ・コンテスト in ひびきの」において、「審査委員奨励賞」を受賞した。

芸術学部・芸術学研究科

◆芸術学研究科造形芸術専攻1年 古川千夏

全国の美術を学ぶ学生から作品を公募するアート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション2016（第16回）において、最優秀賞を獲得した業績。また、金属工芸公募展「いまからまめさら2016」においては、最高賞となる山中源兵衛賞並びにオーディエンス賞の2賞を受賞する業績を挙げた。更に安曇野市が実施する第5回そば猪口アート展では、準大賞を受賞し同市の安曇野高橋節郎記念美術館において入選作品の展示会を含む全国2か所の巡回展示が実施されるものとなった。

◆芸術学部デザイン工芸学科 4 年 住岡 梓

公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会広島地区の「ヒロシマ平和ポスター学生コンペティション 2016」に於いてグランプリを受賞した業績。このほか、基町プロジェクト、沼田地区の美術展覧会、シャレオにおける広告等、本学の広報業務へ積極的に貢献したことが評価された。

◆芸術学部デザイン工芸学科 1 年 田中優菜

「全国大学ビブリオバトル 2016～京都決戦～」に向けた地区予選を勝ち抜き代表となり、続く中国 C ブロック地区決勝戦においても代表者に選出され、全国の地区ブロック決勝を勝ち抜いた 30 名に入る業績を残した。本学で初の全国大会への出場となったことは、他の学生の読書活動に好影響を与えることとなった。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 1 年 梅田綾香

2016 年 6 月、「第 4 回新県美展（第 68 回広島県美術展）」で、入選した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 1 年 平野あゆみ

2016 年 6 月、卒業・修了制作作品が、「広島赤十字・原爆病院賞」を受賞した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 2 年 原田さおり

2016 年 8 月、「第 2 回石本正日本画大賞展」で「奨励賞」を受賞した。

□芸術学部デザイン工芸学科 4 年 上岡由季

「～夢と未来をつなぐ～ALBION AWARDS2016」で「金賞」を受賞した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 2 年 佐藤衣里

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 1 年 宮岡真希

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 1 年 古川千夏

「第 3 回金沢・世界工芸トリエンナーレ」で入選した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 1 年 古川千夏

2016 年 10 月、「ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION (AAC) 2016」で、作品「GEMME」が最優秀賞を受賞した。

□芸術学研究科（博士後期課程）総合造形芸術専攻 2 年 大庭孝文

「第 1 回 堂島リバーアワード 2016 -日本画-」で入選した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 1 年 王 子駿

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 1 年 甲斐杏奈

□芸術学部デザイン工芸学科 2 年 吉岡 華子

独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンターが病院の 60 周年事業である、「呉医療センター・中国がんセンター芸術賞」で「優秀賞」を受賞した。

学生課外活動（クラブ活動）

◆情報科学部知能工学科4年 山本大貴

◆情報科学部知能工学科3年 長瀬悠太

ラグビーの広島県セブンス代表セレクションにおいて、広島県選抜代表チームに選出された。広島県代表チームにあっては、全国一宮セブンスカップにおいて、ベスト8に進出し広く大学の名称を知らせることに貢献したものである。

◆国際学部3年 吉田聖司

第48回広島県実業団・学生合同陸上競技会（400m 障害）においては優勝し、同じく第49回大会には準優勝の成績を収めた。また、第69回中国五県陸上競技対抗選手権大会予選会では、西日本学生対校選手権大会の標準記録を突破し出場権を獲得した。これに加えて、陸上競技の講師としての指導やボランティアとして熱心に取り組んでいる姿勢は、他の学生の模範となっている。

◆国際学部4年 向井生成

中国地区大学軟式野球連盟主催の第19回春季及び秋季リーグ戦において、ベストナイン三塁手に選出され表彰を受けた業績が評価された。

◆情報科学部情報工学科4年 勝谷文尊

中国地区大学軟式野球連盟主催の第19回春季リーグ戦において、ベストナイン外野手に選出され表彰を受けた業績が評価された。

◆情報科学部知能工学科3年 広島市立大学サッカー部代表 佐々木康紀

平成28年度広島県学生サッカーリーグにおいて、2位の成績を収め、また、同学生サッカー連盟の大会運営にも積極的に協力した。これに加えて、曾根教授の指導の下、本学の400Mトラックの芝生の維持管理を積極的行ったことも評価された。

◆情報科学部情報工学科4年 第15回西風新都駅伝大会実行委員会実行委員長 藤葉麻紀

第15回西風新都駅伝大会実行委員会は、本学のトライアスロン部が中心となり、大学構内及び周辺において駅伝大会を主催することより、大学と地域との連携、相互理解に努めている。これまで、参加された市民の方々から高い評価を受けており、今後も継続的に本学と地域の懸け橋としての活動、相互理解の発展に寄与するものと見込まれる。

5 就職

(1) 就職・進学等

ア 学部別の状況(平成28年度)

平成29年3月31日現在

(ア) 学部生

(単位: 名、%)

区 分		卒 業 者 (A + C + D)	就職希望者			進 学 者 (C)	進 学 ・ 就 職 以 外 の 者 (D)	前 年 度(H28年3月卒)					
			希 望 者 (A)	就 職 者 (B)	就 職 決 定 率 (B/A × 100)			卒 業 者	就職希望者			進 学 者	進 学 ・ 就 職 以 外 の 者
									希 望 者	就 職 者	就 職 決 定 率		
国際学部	男	24	15	15	100.0	5	4	20	19	19	100.0	0	1
	女	87	78	78	100.0	2	7	83	75	73	97.3	2	6
	計	111	93	93	100.0	7	11	103	94	92	97.9	2	7
情報科学部	男	164	94	92	97.9	61	9	155	89	88	98.9	63	3
	女	39	32	32	100.0	5	2	40	38	38	100.0	1	1
	計	203	126	124	98.4	66	11	195	127	126	99.2	64	4
芸術学部	男	16	4	4	100.0	7	5	14	5	4	80.0	3	6
	女	65	35	32	91.4	15	15	77	39	34	87.2	17	21
	計	81	39	36	92.3	22	20	91	44	38	86.4	20	27
合 計	男	204	113	111	98.2	73	18	189	113	111	98.2	66	11
	女	191	145	142	97.9	22	24	200	152	145	95.4	20	27
	計	395	258	253	98.1	95	42	389	265	256	96.6	86	38

(イ) 大学院生(博士前期課程)

(単位: 名、%)

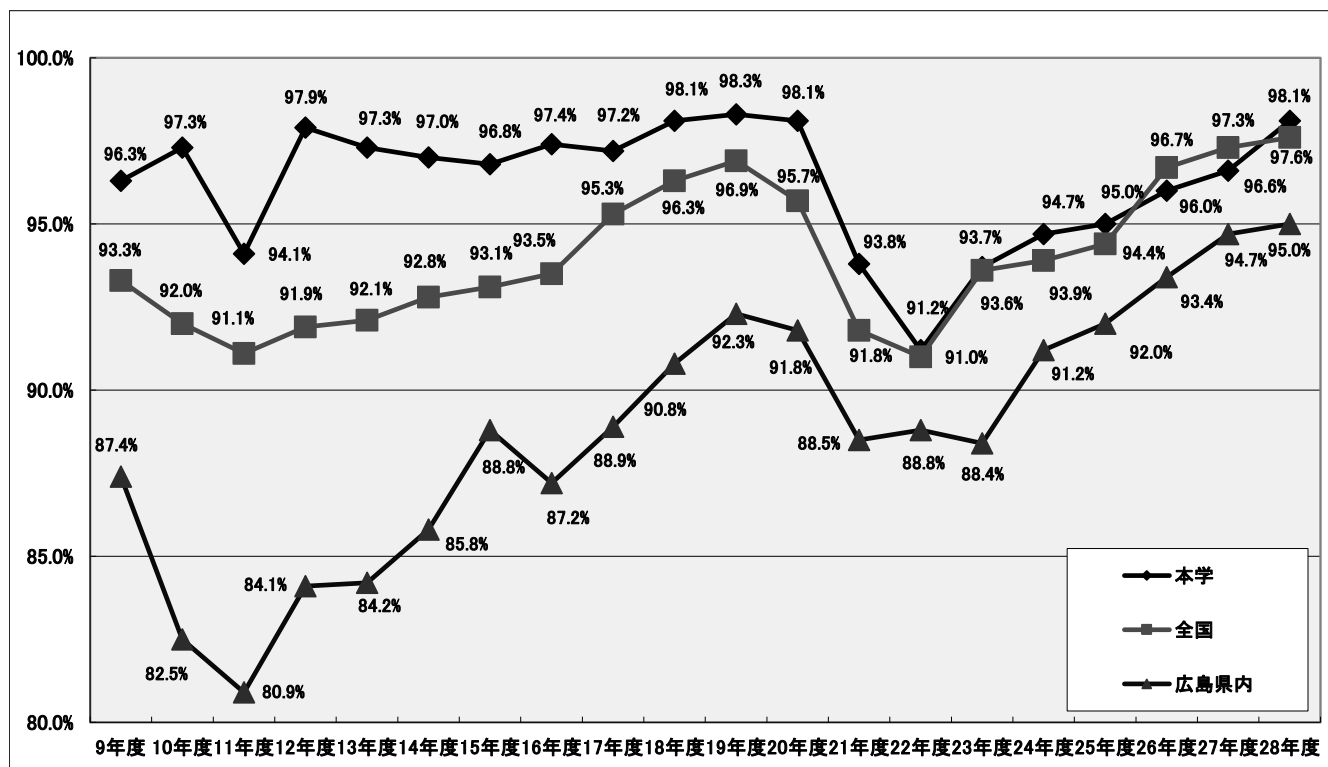
区 分		(A + C + D) 修了者	就職希望者			進学者 (C)	進学・就職以外の者 (D)	前 年 度(H28年3月卒)					
			希望者 (A)	就職者 (B)	就職決定率 (B/A × 100)			修了者	就職希望者			進学者	進学・就職以外の者
									希望者	就職者	就職決定率		
国際学研究科	男	1	0	0	-	0	1	6	3	3	100.0	1	2
	女	10	2	2	100.0	0	8	6	2	2	100.0	0	4
	計	11	2	2	100.0	0	9	12	5	5	100.0	1	6
情報科学研究科	男	75	69	69	100.0	2	4	79	75	75	100.0	2	2
	女	1	1	1	100.0	0	0	2	2	2	100.0	0	0
	計	76	70	70	100.0	2	4	81	77	77	100.0	2	2
芸術学研究科	男	5	2	2	100.0	2	1	8	2	1	50.0	0	6
	女	26	15	14	93.3	5	6	17	6	5	83.3	2	9
	計	31	17	16	94.1	7	7	25	8	6	75.0	2	15
合 計	男	81	71	71	100.0	4	6	93	80	79	98.8	3	10
	女	37	18	17	94.4	5	14	25	10	9	90.0	2	13
	計	118	89	88	98.9	9	20	118	90	88	97.8	5	23

(参考) 学部生の就職率比較【平成29年3月31日現在】

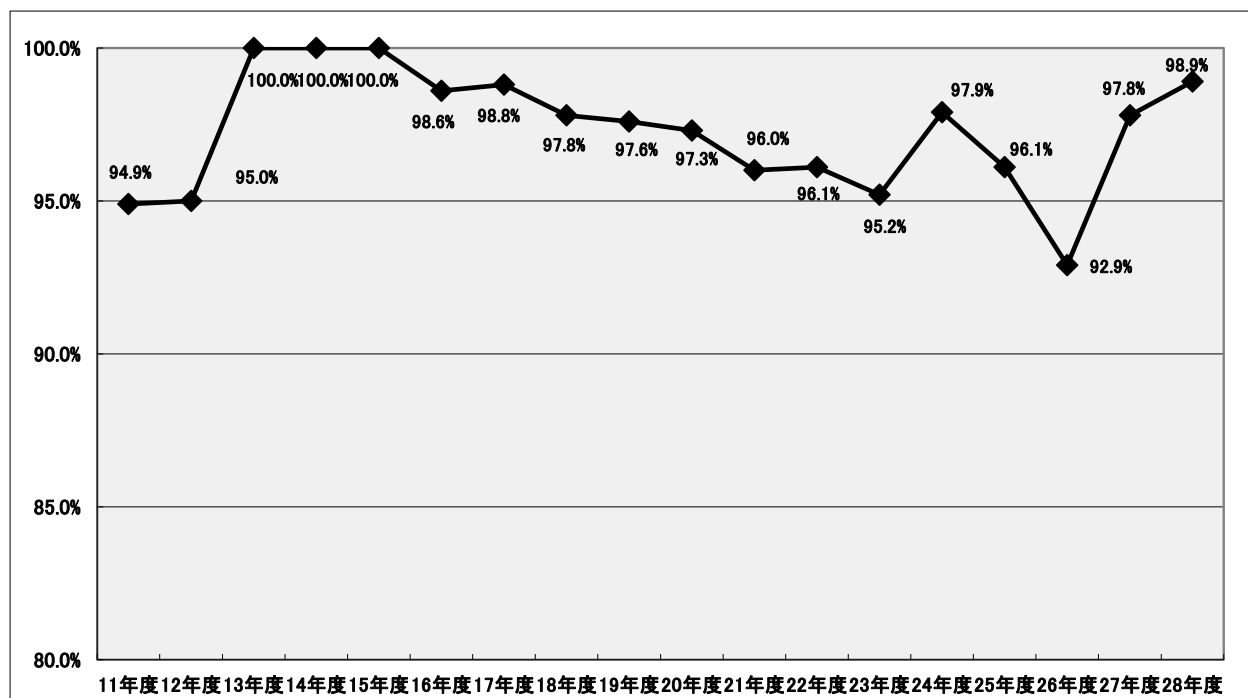
区 分	就職率	備 考
広島市立大学	98.1%	
広 島 県	95.0%	広島労働局
全 国	97.6%	文部科学省・厚生労働省調査

イ 就職率の推移(平成9年度～平成28年度)

(ア) 学部



(イ) 大学院

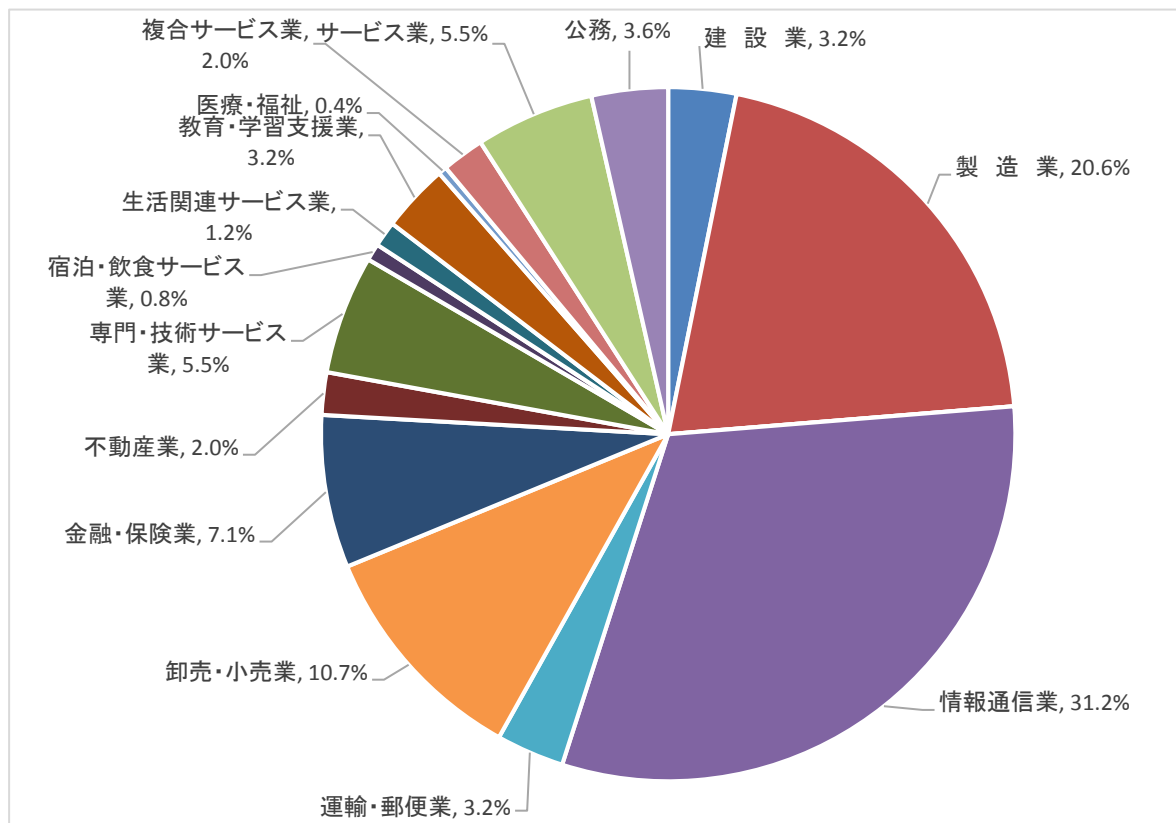


(2) 就職先の構成比

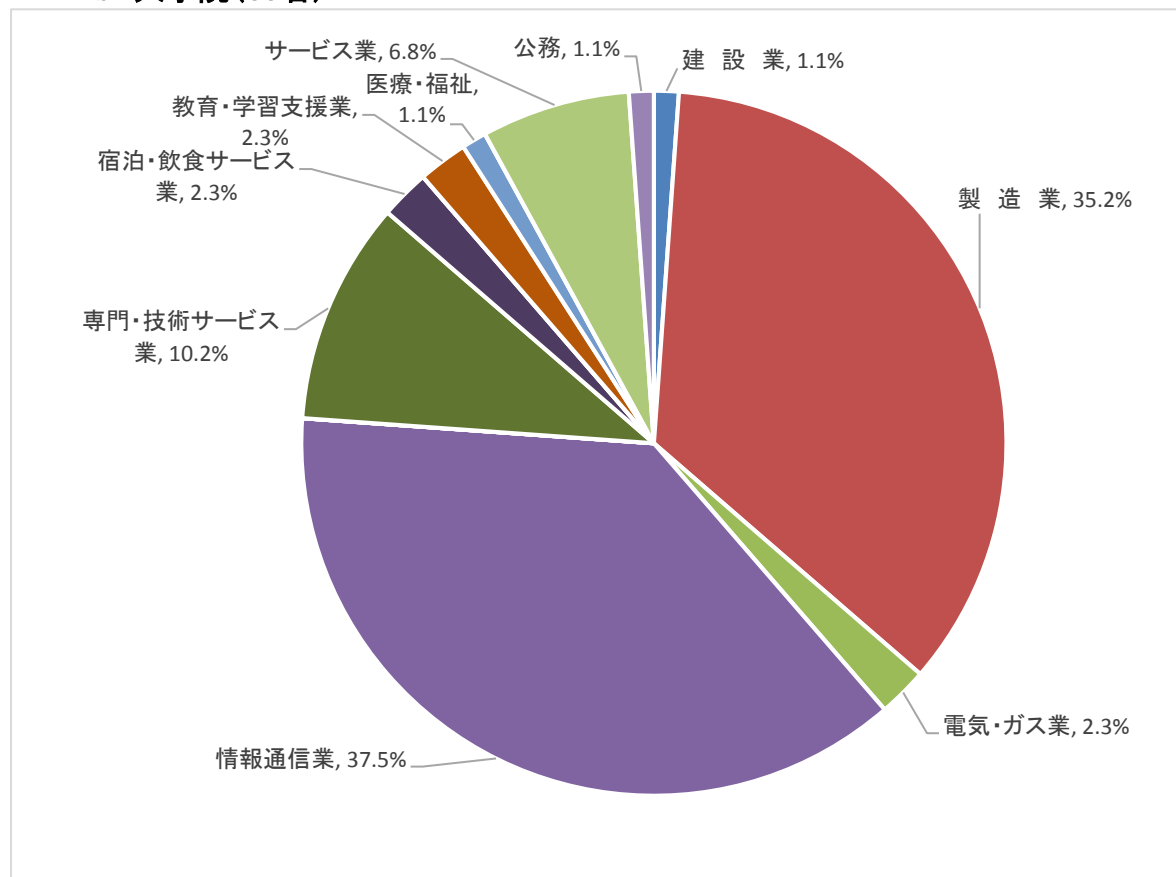
ア 業種別

(ア) 平成28年度卒

a 学部(253名)



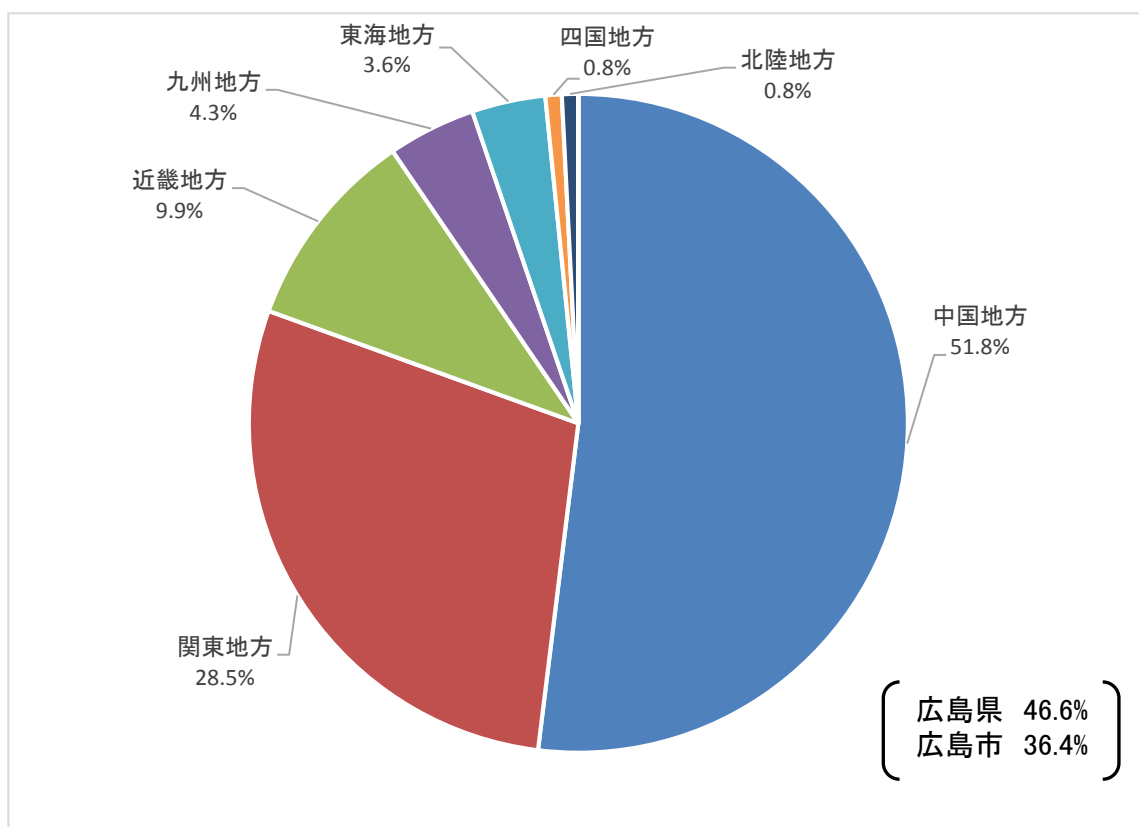
b 大学院(88名)



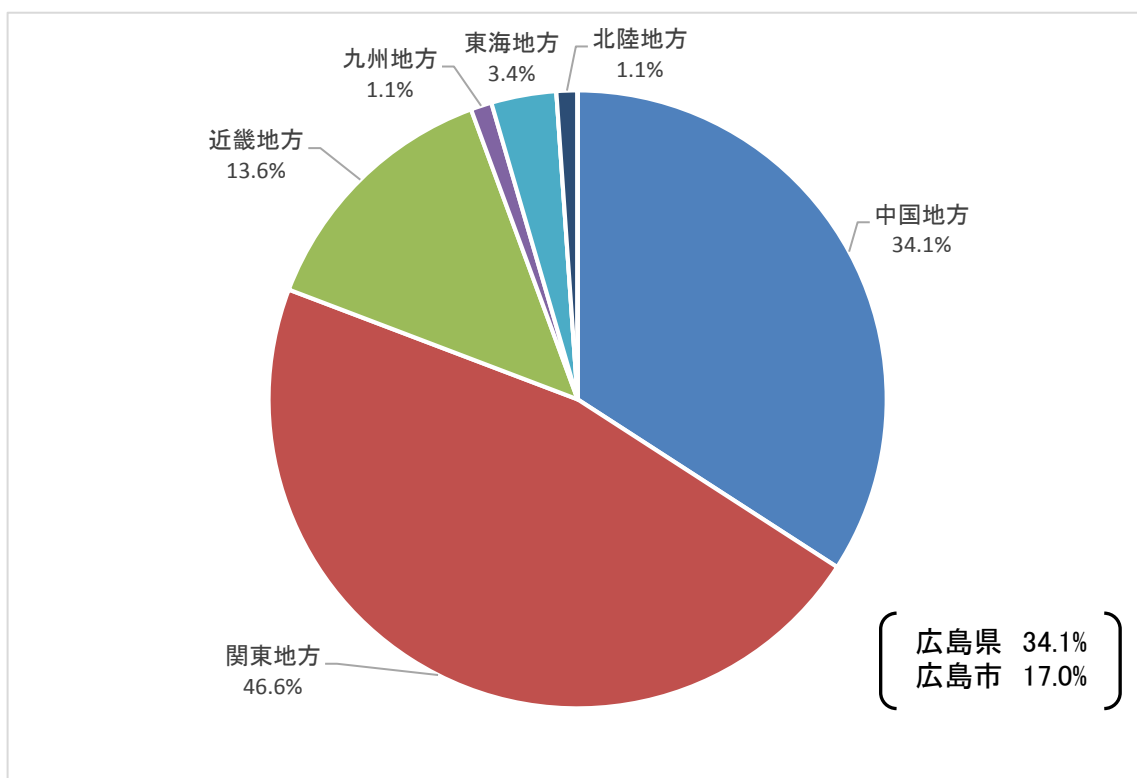
イ 地域別

(7) 平成28年度卒

a 学部(253名)



b 大学院(88名)



(3)就職先企業等一覧

ア 平成28年度 国際学部及び国際学研究科(大学院)

H29.3.31現在

就 職 先

《広島県内地域》35社43名

- ・(株)アドプレックス(広島市)
- ・(株)イズミ(広島市)2名
- ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ(広島市)
- ・(株)エブリイホームイホールディングス(広島県)
- ・(株)鷗州コーポレーション(広島市)
- ・(株)近畿日本ツーリスト中国四国(広島市)
- ・呉市役所(広島県)
- ・(株)合人社計画研究所(広島市)2名
- ・広成建設(株)(広島市)
- ・山陽マシン(株)(広島県)
- ・山陽三菱電機販売(株)(広島市)
- ・(株)志和工業(広島市)
- ・瀬戸内グリル じばんぐ(広島県)
- ・(株)総合オリコミ社(広島県)
- ・中国興業(株)(広島県)
- ・中国ターミナルサービス(株)(広島市)
- ・常石造船(株)(広島県)
- ・(株)トータテホールディングス(広島市)
- ・(株)東洋シート(広島県)
- ・長沼商事(株)(広島市)2名
- ・税理士法人 長谷川会計(広島市)
- ・(株)八天堂(広島県)
- ・(株)ビーシー・イングス 田中学習会(広島市)
- ・(株)広島銀行(広島市)3名
- ・広島県市公立学校(広島市)
- ・広島市役所(広島市)3名
- ・広島テレビ放送(株)(広島市)
- ・公益財団法人 広島平和文化センター(広島市)
- ・広島みどり信用金庫(広島県)
- ・(株)ヒロテック(広島市)2名
- ・ファミリーライフ広島(広島市)
- ・マツダ(株)(広島県)
- ・マツダロジスティクス(株)(広島市)
- ・(株)マルニ木工(広島市)
- ・(株)やまだ屋(広島県)

《関東地域》27社29名

- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株)(東京都)
- ・(株)アキュラホーム(東京都)
- ・アスカ(株)(東京都)
- ・アデコ(株)(東京都)
- ・(株)エイチ・アイ・エス(東京都)
- ・風間総合サービス(栃木県)
- ・(株)gumi(東京都)
- ・一般社団法人国際交流サービス協会(東京都)
- ・(株)コジマ(栃木県)
- ・(株)さなる(東京都)
- ・(株)システムゼウス(東京都)
- ・(株)シブス(東京都)
- ・損害保険ジャパン日本興亜(株)(東京都)2名
- ・全日本空輸(株)(東京都)
- ・第一生命保険(株)(東京都)
- ・東京海上日動火災保険(株)(東京都)
- ・東京濾器(株)(神奈川県)
- ・鳥居薬品(株)(東京都)
- ・日本航空(株)(東京都)
- ・日本郵便(株)(東京都)2名
- ・日本郵政グループ(東京都)
- ・ハイテックスシステム(株)(東京都)
- ・東日本旅客鉄道(株)(東京都)
- ・三井住友海上火災保険(株)(東京都)
- ・明治安田生命保険相互会社(東京都)
- ・(株)リクルートキャリア(東京都)
- ・(株)ワークポート(東京都)

《近畿地域》12社12名

- ・関西エアポート(株)(大阪府)
- ・(株)関西エアポートエージェンシー(大阪府)
- ・ゴンチャロフ製菓(株)(兵庫県)
- ・(株)ジェイアール西日本ウェルネット(大阪府)
- ・タカラスタンダード(株)(大阪府)
- ・東洋ゴム工業(株)(大阪府)
- ・西日本高速道路(株)(大阪府)
- ・(株)日本トリム(大阪府)
- ・(株)平田タイル(大阪府)
- ・(株)フェイス(兵庫県)
- ・本州四国連絡高速道路(株)(兵庫県)
- ・美津濃株式会社(ミズノ)(大阪府)

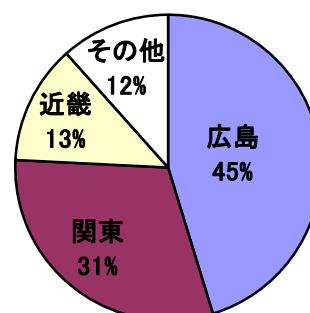
《その他地域》11社11名

- ・黒崎播磨(株)(福岡県)
- ・澁谷食品(株)(高知県)
- ・(株)駿河生産プラットフォーム(静岡県)
- ・(株)ゼネラルアサヒ(福岡県)
- ・中日本エクシス(株)(愛知県)
- ・(株)ナフコ(福岡県)
- ・(株)ニトリ(北海道)
- ・(株)メニコン(愛知県)

《その他地域》16社20名

- ・(株)山田車輛(岡山県)

ほか



(注)所在地により地域別に整理

就 職 先

《広島県内地域》56社85名

・(株)インソース(広島市)
 ・(株)インタフェース(広島市)
 ・(株)栄工社(広島県)
 ・NSウエスト(株)(広島県)
 ・(株)エヌ・ティ・ティ・データ中国(広島市)2名
 ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ(広島市)7名
 ・大竹市役所(広島県)
 ・カヤ工業(株)(広島市)
 ・(株)熊平製作所(広島市)3名
 ・(株)呉電子計算センター(広島県)
 ・警察庁 中国管区警察局(広島市)
 ・(株)コアシステムズ(広島県)
 ・(株)コトブキソリューション(広島県)3名
 ・(株)サタケ(広島県)2名
 ・(株)サン・テクトロ(広島市)2名
 ・(株)サンネット(広島市)2名
 ・(株)ジェイ・エム・エス(広島市)2名
 ・(株)システムワン(広島市)2名
 ・新川センサテクノロジー(株)(広島県)
 ・新川電機(株)(広島市)
 ・(株)新星工業社(広島市)
 ・(株)スキップショット(広島市)
 ・(株)ソルコム(広島市)2名
 ・(株)第一技研(広島県)
 ・中外テクノス(株)(広島市)
 ・(株)中国新聞システム開発(広島市)
 ・中国電力(株)(広島市)2名
 ・(株)中電工(広島市)
 ・(株)テクノクラーツ(広島市)
 ・テクノライブ(株)(広島市)
 ・東洋電装(株)(広島市)
 ・(株)ドコモCS中国(広島市)2名
 ・トヨタカローラ広島(株)(広島市)
 ・日本アイ・ビー・エム共同ソリューション・サービス(株)(広島市)
 ・日本アイビーエム中国ソリューション(株)(広島市)
 ・ネットヨタ中国(株)(広島市)
 ・(株)ネクストビジョン(広島市)2名
 ・(株)ネストロジスティクス(広島市)
 ・(株)ハイエレコン(広島市)
 ・(株)日立インフォメーションエンジニアリング(広島市)3名
 ・(株)日立ソリューションズ西日本(広島市)3名
 ・(株)広島銀行(広島市)
 ・広島県警察本部(広島市)
 ・広島県中小企業共済協同組合(広島市)
 ・広島国際学院高等学校(広島市)
 ・広島市消防局(広島市)
 ・広島市役所(広島市)
 ・広島信用金庫(広島市)
 ・(株)マイティネット(広島市)2名
 ・マツダ(株)(広島県)4名
 ・(株)マツダE&T(広島市)2名
 ・マツダエース(株)(広島県)
 ・(株)モルテン(広島市)
 ・(株)リーガロイヤルホテル広島(広島市)
 ・(株)良和ハウス(広島市)
 ・(株)ワイテック(広島県)

《関東地域》54社67名

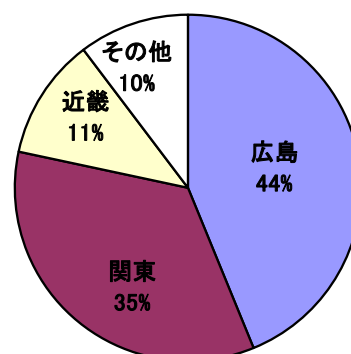
・(株)アイ・エル・シー(東京都)2名
 ・(株)アイティシステム(東京都)
 ・(株)アイレックス(東京都)
 ・(株)アイレップ(東京都)
 ・アクセンチュア(株)(東京都)
 ・アットホーム(株)(東京都)
 ・(株)アルファシステムズ(神奈川県)
 ・(株)アルプス技研(神奈川県)
 ・(株)インターネットイニシアティブ(東京都)4名
 ・インターネットウェア(株)(東京都)
 ・(株)インフォテクノ朝日(東京都)
 ・(株)エイティング(東京都)
 ・NRIシステムテクノ(株)(神奈川県)
 ・エヌアイ情報システム(株)(東京都)
 ・NECソリューションイノベータ(株)(東京都)2名
 ・エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株)(神奈川県)2名
 ・MHI情報システムズ(株)(東京都)
 ・(株)協和エクシオ(東京都)
 ・(株)コモドソリューションズ(東京都)
 ・CTCテクノロジー(株)(東京都)
 ・JBSテクノロジー(株)(東京都)
 ・新生フィナンシャル(株)(東京都)
 ・SOLIZE Engineering(株)(東京都)
 ・(株)DNP情報システム(東京都)
 ・(株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社(東京都)
 ・(株)デザインネットワーク(東京都)
 ・(株)トラスト・テック(東京都)
 ・(株)ドリーム・アーツ(東京都)3名
 ・(株)ニッセイコム(東京都)
 ・日本アドバンス・テクノロジー(株)(東京都)
 ・日本電気(株) NEC(東京都)2名
 ・日本放送協会 NHK(東京都)
 ・日本無線(株)(東京都)2名
 ・パナソニックシステムネットワークス(株)(東京都)
 ・パナソニックソリューションテクノロジー(株)(東京都)
 ・(株)日立公共システム(東京都)
 ・(株)日立システムズ(東京都)
 ・(株)日立超LSIシステムズ(東京都)2名
 ・(株)日立ビルシステム(東京都)
 ・富士ゼロックス(株)(東京都)
 ・富士ソフト(株)(神奈川県)2名
 ・富士通(株)(東京都)2名
 ・(株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ(神奈川県)
 ・(株)富士通ビー・エス・シー(東京都)
 ・富士電機(株)(東京都)
 ・三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(東京都)
 ・三菱電機エンジニアリング(株)(東京都)2名
 ・三菱電機特機システム(株)(東京都)
 ・三菱電機ビルテクノサービス(株)(東京都)
 ・(株)メイテック(東京都)
 ・(株)メンバーズ(東京都)
 ・(株)ユーシン(東京都)
 ・ユニアデックス(株)(東京都)

《近畿地域》19社22名

・(株)アスパーク(大阪府)
 ・(株)インフォコム西日本(大阪府)2名
 ・エヌ・ティ・ティ・スマートコネク(株)(大阪府)
 ・(株)エヌ・ティ・ティ ネオメイト(大阪府)2名
 ・(株)NTTフィールドテクノ(大阪府)
 ・(株)オーグス総研(大阪府)
 ・(株)カブコン(大阪府)
 ・関電システムソリューションズ(株)(大阪府)
 ・警察庁 近畿管区警察局(大阪府)
 ・医療法人 鴻池会(奈良県)
 ・(株)スーパーソフトウェア(大阪府)
 ・ニプロ(株)(大阪府)
 ・パナソニックアドバンステクノロジー(株)(大阪府)2名
 ・パナソニックインフォメーションシステムズ(株)(大阪府)
 ・(株)ビーイング(三重県)
 ・富士通テン(株)(兵庫県)
 ・三菱電機マイコン機器ソフトウェア(株)(兵庫県)
 ・三菱重工業メカトロシステムズ(株)(兵庫県)
 ・ロート製薬(株)(大阪府)

《その他地域》16社20名

・(株)ヴィッツ(愛知県)
 ・(株)岡山トヨタシステムサービス(岡山県)
 ・(株)コスモス薬品(福岡県)
 ・小林化工(株)(福井県)
 ・四国通建(株)(愛媛県)
 ・静岡県富士見中学校・高等学校(数学)(静岡県)
 ・澁谷工業(株)(石川県)
 ・西部ガス情報システム(株)(福岡県)
 ・デンソーテクノ(株)(愛知県)2名
 ・(株)西日本シティ銀行(福岡県)
 ・浜松ホトニクス(株)(静岡県)
 ・ハリウッドチェーン・成通グループ(岡山県)
 ・(株)ハローズ(岡山県)
 ・(株)プロビズモ(島根県)2名
 ・(株)リョービシステムサービス(岡山県)
 ・(株)両備システムズ(岡山県)3名



(注)所在地により地域別に整理

就 職 先

《広島県内地域》18社20名

・アートプラットホーム ギャラリーG(広島市)
 ・(株)アイ・エム・シー ユナイテッド(広島市)
 ・(株)尼子建設(広島市)
 ・(有)エー・エー・オー(広島市)2名
 ・(株)AMC西日本(広島市)
 ・一般社団法人HAP(広島市)
 ・(株)絵広(株)えこう(広島県)
 ・(株)シグマ(広島県)
 ・(株)ダイキエンジニアリング(広島県)
 ・大昌工芸(株)(広島市)
 ・(株)都市ビルサービス(広島県)
 ・広島県公立学校教員(中・美)(広島県)
 ・広島県公立学校教員(高・美)(広島県)
 ・(株)ポップジャパン(広島市)
 ・(株)美はる社(広島市)2名
 ・(株)ムラカミ(広島市)
 ・(株)やしま(広島市)
 ・ユダ木工(株)(広島県)

《関東地域》17社17名

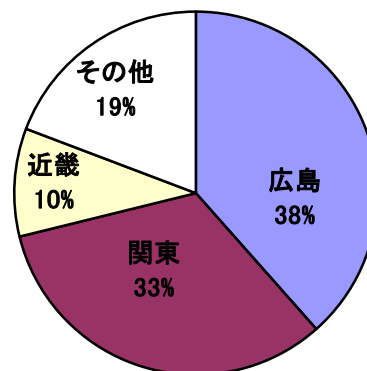
・(株)アウトソーシングテクノロジー(東京都)
 ・OVERA(株)(東京都)
 ・(株)オンワード樫山(東京都)
 ・(株)KAJIHARA DESIGN STUDIO(東京都)
 ・(株)コロプラ(東京都)
 ・(株)彩高堂(東京都)
 ・(株)しまむら(埼玉県)
 ・(株)シュガー(東京都)
 ・ジュングループ(東京都)
 ・(株)セブンティエイタイティ(東京都)
 ・(株)土屋鞆製造所(東京都)
 ・(株)ナイスクラップ(東京都)
 ・(株)プロビジョン(東京都)
 ・(株)マイナビ(東京都)
 ・(株)ミクシィ(東京都)
 ・(株)Legaseed(東京都)
 ・(株)ワールドストアパートナーズ(東京都)

《近畿地域》5社5名

・学校法人暁学園 暁高等学校(三重県)
 ・(株)カプコン(大阪府)
 ・(株)コスモネット(京都府)
 ・(株)洛北義肢(京都府)
 ・(株)Razest(大阪府)

《その他地域》10社10名

・(株)アデリー(山口県)
 ・(株)ケイ・ウノ(愛知県)
 ・(株)コスモス薬品(福岡県)
 ・(株)TOE(福岡県)
 ・財団法人日本浮世絵博物館(長野県)
 ・(株)BANKANわものや(愛知県)
 ・福博総合印刷(株)(福岡県)
 ・(株)山本漆器店(島根県)
 ・(株)ランハンシャ(福岡県)
 ・(株)ロックハーツ(福岡県)



6 社会連携

(1) 産学官連携

ア 推進体制（平成 29 年 4 月 1 日時点）

◆社会連携センター

○産学官連携推進に係る学内外窓口

- ・企業等からの相談受付（共同研究、技術相談等）
- ・リエゾン活動（教員からの共同研究相手先企業等の開拓）
- ・受託研究、共同研究、助成金、奨学寄附金等受入
- ・他機関との連絡調整 等

○産学官連携コーディネーターの配置（平成 15 年度から）

○知的財産管理体制の構築

○知的財産マネージャーの配置（平成 17 年度から）

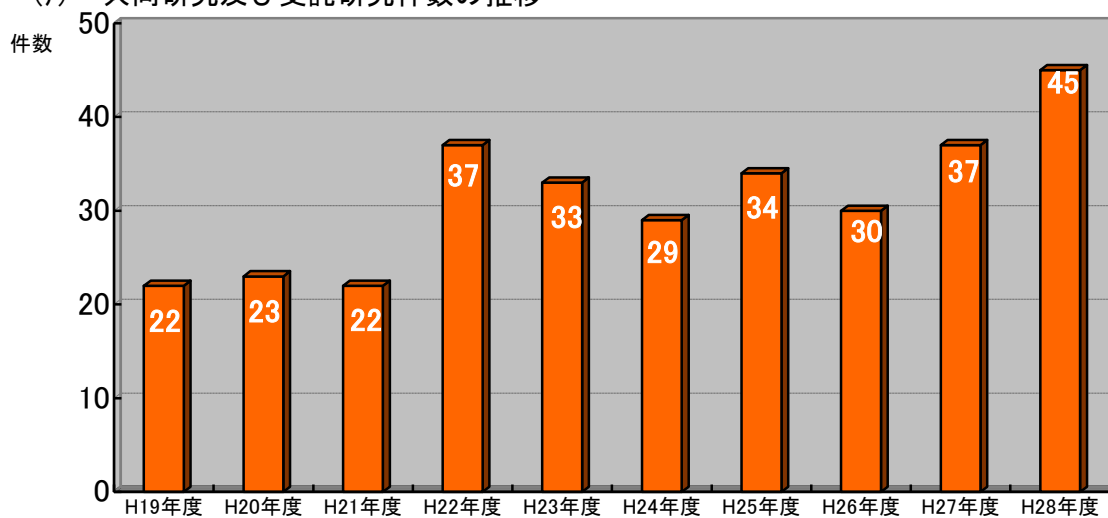
○社会連携センター設置（平成 19 年度 産学官連携推進室から移行）

○地域連携コーディネーターの配置（平成 20 年度から）

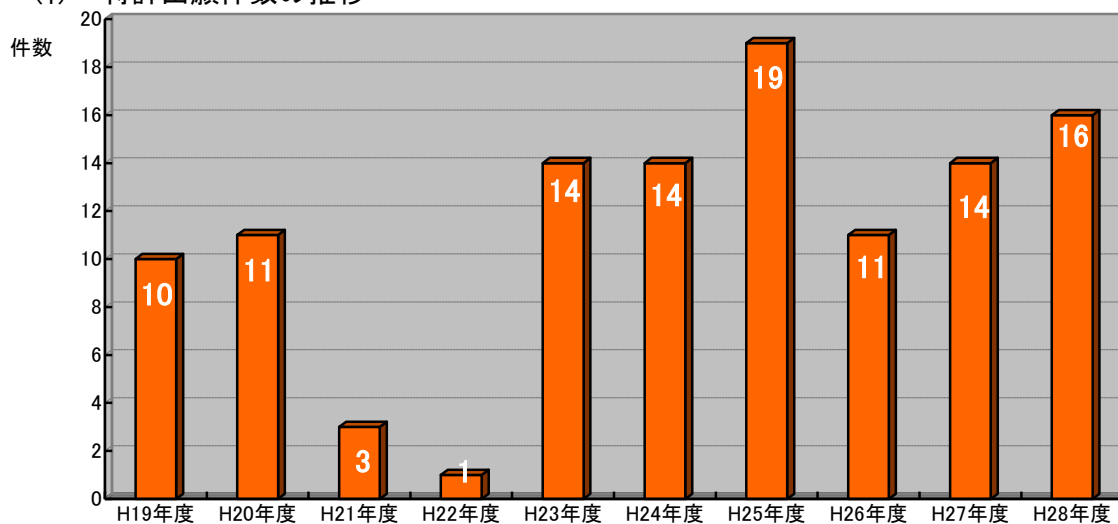
○社会連携コーディネーターの配置（平成 23 年度から）

イ 研究・事業等の実施状況（平成 19 年度～28 年度）

(ア) 共同研究及び受託研究件数の推移



(イ) 特許出願件数の推移



(ウ) 情報発信及び産学共同事業

◆広島市立大学産学連携研究発表会の開催

○平成 28 年度開催概要

日時：平成 28 年 9 月 14 日（水）13：00～16：30

場所：合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
5 階研修室、4 階ギャラリー

<プログラム>

・講演会

基調講演：「土砂災害防止の取り組みについて」

（広島大学総合科学研究科教授 海堀 正博）

研究者講演：「ICT技術による土砂災害から身を守るための取り組み」

（情報科学研究科教授 西 正博）

「災害時のための情報システムに関する研究紹介」

（情報科学研究科准教授 島 和之）

・マッチングセッション、交流会

〔出展：本学各研究室、本学社会連携センター、（公財）広島市産業振興センター、
（公財）ちゅうごく産業創造センター、（一社）広島県発明協会〕

<参加者>：H28 実績 約 140 名



講演会



マッチングセッション

◆広島市役所での地域貢献事業発表会

○平成 28 年度開催概要

日時：平成 28 年 11 月 25 日（金）12：00～15：30

場所：広島市役所 2F 講堂

<プログラム>

・事例発表

① あさみなみ芸術化構想 2016

広島市都市整備局西風新都整備部主任技師 福馬 晶子

芸術学部教授（副学長） 前川 義春

② 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

社会連携センター特任教授 國本 善平

③ 広島広域都市圏鳥瞰図の作成

広島市企画総務局広域都市圏推進課主査 小谷 比佐恵

芸術学部教授 笠原 浩

・パネル等の展示

<参加者> : H28 実績 約 150 名



事例発表



パネル展示

◆イベント出展、講演等

- ・ 11 月 8 日 : 信用金庫合同ビジネスフェア (於 : 広島)
- ・ 1 月 21 日 : 電子デバイス事業化フォーラム (於 : 福山)
- ・ 1 月 23 日 : 医療福祉機器技術事業化交流会 (於 : 広島)
- ・ 1 月 27 日 : ビジネスマッチング交流会 (於 : 広島)
- ・ 2 月 16 日 : 知財ビジネスマッチングセミナー (於 : 広島)

(2) 地域連携

ア 公開講座

《平成 28 年度》

〔国際学部開催分〕

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
国際交流・協力の日に 合わせて開催している講座	イスラーム復興主義(過激主義)と中東情勢 〔(公財)広島平和文化センターが主催する 「国際交流・協力の日」の中のプログラム のひとつとして開催している講座。毎年、 国際学部研究交流委員会において企画し ている。〕	11/20 (日) ＊国際交流・ 協力の日	1 回	広島国際会議場	無料	100 人	86 人
市大英語 eラーニング講座	【市大英語 eラーニング講座】 ○リーディング・リスニング・ 文法プログラム ○スピーキングプログラム ○ライティングプログラム ○小学校英語教育指導者養成プログラム ○通訳ガイド養成プログラム	(第 1 期) 5/22～8/7 (第 2 期) 7/24～10/9 (第 3 期) 9/25～12/11	—	・ゆいぽーと ・本学サテライト キャンパス ・市大語学センター (第 2 期のみ)	リーディング・リスニング ・文法プログラム 18,200 円	各期 80 人	(第 1 期) 61 人
		その他プログラム 各 5,000 円			(第 2 期) 43 人		
					(第 3 期) 35 人		

〔情報科学部開催分〕

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
高 校 生 向 け	高校生による情報科学自由研究 MRIで撮ってみよう/サウンドデザイン、"美しい音"をどう評価する？/作ってチャレンジ！ロボット サッカー/eラーニングの学習クイズ作成/ビッグデータの科学～ソーシャルネットワークの分析～/コンピュータで絵を作る。CGに挑戦！/データの裏側を探れ！統計的データ解析/無線LANで通信実験！空中を飛んでいるデータをみてみよう/iPhone・iPadで「測るアプリ」を作ろう！/ネットワーク対応の組み込みマイコンをプログラミングしてみよう/フェンシング審判器の研究/オルゴールの材質・構造を変化させて美しい音はでるか/桁数が多い数値型 全13テーマ	7～8月	随時	本学各研究室等	無料	1テーマ 5人程度	41人
実 務 者 向 け	実践情報科学セミナー ①ヘルスケア IoTとその国際標準化動向 ②Android/mbed プログラミングによるロボット制御入門	①12/7 (水) ②12/15 (木)	各 1 回	①本学サテライト キャンパス ②本学情報科学部棟 314	① 無料 ②5,200 円	各 20 人	①3人 ②2人
一 般 向 け	講演会 ①土砂災害から身を守るための ICT 技術 ②人間の言葉を理解するコンピュータ	11/9 (水)	1 回 (2 講座)	本学サテライト キャンパス	無料	40 人	13 人

〔芸術学部開催分〕

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
一般向け講座	日本画コース	9/5～9	全5回	本学アトリエ	10,200円	32人	36人
	油絵コース	8/1～8/5	全5回	本学アトリエ	12,200円	15人	13人
			全5回	本学アトリエ	12,200円	35人	11人
		8/1～8/5	全5回	本学工房	12,200円	15人	13人
	彫刻コース	7/29～7/31	全3回	本学アトリエ	8,200円	10人	10人
		8/1～8/2	全2回	本学アトリエ	6,200円	10人	3人
	デザイン工芸コース	8/29～9/1	全4回	本学工房	9,200円	10人	4人
		8/25～27, 29, 30	全5回	本学工房	10,200円	10人	10人
	日本画コース	8/27, 28	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	20人
	油絵コース	8/8, 9	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	16人
サマースクール	彫刻コース	8/3～8/5	全3回	本学実習室	8,200円	20人	9人
	デザイン工芸コース	8/20, 21	全2回	本学実習室	6,200円	40人	48人

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
(工芸・芸術学部社会人講座 通年コース)	漆	H28/4/12～ H29/1/20	—	本学工房	212,000 円/年 (週 4 日)	計 10 人 各分野若干名	0 人
	金工				172,000 円/年 (週 3 日)		3 人
	染織				132,000 円/年 (週 2 日)		3 人
	版画				92,000 円/年 (週 1 日)		10 人
(※夏季特別講座)	漆	H28/8/8～ H28/9/30	—	本学工房	42,400 円 (週 4 日)	計 10 人 各分野若干名	0 人
	金工				34,400 円 (週 3 日)		0 人
	染織				26,400 円 (週 2 日)		3 人
	版画				18,400 円 (週 1 日)		9 人

※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講する。

大学連携開催分

〔県立広島大学・広島市立大学連携公開講座〕

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
ひろしま学を考える	ひろしまの海がつかない人・物・情報 ーよみがえる中世の港町ー 【県立広島大学人間文化学部】	7/6～7/27 (毎週水曜)	全4回	サテライトキャンパスひろしま (県立広島大学サテライトキャンパス)	無料	80人	74人
	サダコとイサム・ノグチから見るヒロシマ 【広島市立大学芸術学部】						
	ひろしまの英学：明治期を中心に 【県立広島大学生命環境学部】						
	中世・近世のひろしまの絵画 【広島市立大学国際学部】						
	隣国ロシアとその言葉：対露イメージの変動と ロシア語の特徴						
言語を通じて世界を知る	日本人はラテン語・ポルトガル語をどのように に受容したか～キリシタン時代から現代の南 米移民まで～ 【県立広島大学人間文化学部】	10/7～10/28 (毎週金曜)	全4回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	37人
	英語圏の風刺漫画を通じて2015年を振り返る 【県立広島大学生命環境学部】						
	グローバル言語としてのアラビア語 【広島市立大学国際学部】						

〔広島平和研究所開催分〕

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
連続市民講座 前期	武器の進化と国際平和	6/3～7/1 (毎週金曜日)	全5回	合人杜ウエンデイ ひと・まちプラザ (袋町)	無料	100人	88人
	グローバルな核軍縮と日本の課題						88人
	人道的アプローチの有用性						81人
	北朝鮮の核開発と今後の課題						57人
	イラン核合意の履行と中東地域の安定						82人
	ジェノサイド条約起草過程にみる虚と実——『人道に対する罪』の裁きの限界						79人
連続市民講座 後期	国際刑事法の発展の歴史	10/12～11/9 (毎週水曜日)	全5回	合人杜ウエンデイ ひと・まちプラザ (袋町)	無料	100人	80人
	通常兵器における非人道性と国際人道法の限界						61人
	国際刑事裁判所による戦争犯罪の処罰——核兵器使用について						66人
	被爆体験の非人道性と戦争の非人道性						73人

	講座名	開催時期	回数	場所	受講料	定員	受講者
英語による市民講座	Domesticating Hiroshima in America in the Early Cold War	1/27～2/17 (毎週金曜日)	全4回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	25人
	The Marshall Islands ICJ Judgement: Preliminary Objections as Litigation Tactics						13人
	Japanese Civilian-based Support of the Korean Atomic Bomb Survivors						20人
	Recent Developments in Myanmar Politics Under the NLD Government						6人
	枯れ葉剤―沖縄と米軍基地汚染	7/14	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	21人
研究フォーラム	満州事変と「一タ会」 ―陸軍エリート集団の戦争シナリオとは	10/6	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	17人
	核兵器禁止化の世界的な動きと日本の選択肢	11/16	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	27人
	アジア・太平洋地域における予防外交と海洋安全保障	2/22	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	18人
	日韓関係の行方と北東アジアの平和	3/3	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	18人
	危機の東アジア――「核なき世界」に向けて	7/23	1回	広島国際会議場 地下2階 ヒマワリ	無料	450人	235人
国際シンポジウム							

イ その他の事業

- ◆ 行政課題解決への協力
 - ・基町プロジェクト（平成 25 年 7 月広島市策定「基町住宅地区活性化」に掲げるにぎわい再生事業）
 - ・広島広域都市圏鳥瞰図の製作 など
- ◆ NPO、市民などとの協働事業
 - ・あさみなみ芸術化構想 2 0 1 6
 - ・地域商店街活性化への貢献 など

ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況（平成28年度に任期が含まれたものを対象）

【理事長・学長、理事・副学長】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	理事 (副学長)	青木信之	H28. 6. 3	～ ※1
広島市	公益財団法人広島市文化財団	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H26. 4. 1	～ ※2
広島市	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H27. 6. 11	～ ※3
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H27. 6. 12	～ ※4
広島市	彫像・記念碑等の設置審査委員会	委員	理事 (副学長)	前川義春	H27. 7. 10	～ H29. 7. 9
広島県	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	委員	理事長 (学長)	青木信之	H24. 4. 1	～ H31. 3. 31
広島県	広島県留学生活躍支援センター	委員	理事長 (学長)	青木信之	H25. 4. 1	～ H31. 3. 31
その他	公益財団法人もみじ銀行育英会	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H28. 6. 3	～ ※5
その他	公益財団法人大学基準協会	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H28. 6. 21	～ ※5
その他	広島シンガポール協会	理事	理事長 (学長)	青木信之	H28. 6. 1	～ ※6
その他	公益財団法人ヒロシマ平和創造基金	理事	理事長 (学長)	青木信之	H28. 6. 23	～ ※7
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	理事長 (学長)	青木信之	H29. 4. 1	～ H31. 3. 31
その他	一般社団法人公立大学協会	委員	理事長 (学長)	青木信之	H27. 5. 26	～ ※8
その他	公益財団法人ひろしん文化財団	理事	理事長 (学長)	青木信之	H27. 5. 26	～ ※9
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	理事	理事長 (学長)	青木信之	H27. 6. 23	～ ※10
その他	公益財団法人ひろしま産業振興機構	ひろしま医工連携イノベーション推進協議会委員	理事 (副学長)	若林真一	H28. 7. 6	～ H30. 3. 31
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	運営委員会委員、大学間・広大連携委員会委員	理事 (副学長)	前川義春	H28. 4. 1	～ H30. 3. 31

※1 平成31年5月開催の定時評議会終結の時まで

※2 登記を行った日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで

※3 平成31年定時評議員会の終結の時まで

※4 平成30年度に関する定時評議員会の終結の日まで

※5 平成31年度に関する定時評議員会の終結の日まで

※6 平成30年度に関する定時総会の終結の時まで

※7 平成30年6月開催の評議員会終結の時まで

※8 平成29年度定時総会まで

※9 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

※10 平成29年6月の定例社員総会の日まで

【国際学部】

	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市民局人権啓発部人権啓発課	広島市多文化共生市民会議委員	教授	ヴェール、ウルリケ	H25. 9. 5	～ H29. 9. 4
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	岩井千秋	H27. 12. 1	～ H29. 11. 30
その他	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館	国立民族学博物館共同研究員	教授	宇野 昌樹	H28. 4. 1	～ H29. 3. 31
広島県	広島県総務課	広島県情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	太田育子	H26. 12. 1	～ H30. 11. 30
広島市	広島県環境県民局学事課	広島県私立学校審議会委員	教授	太田育子	H26. 12. 24	～ H30. 12. 24
大竹市	大竹市	大竹市総合戦略推進会議委員	教授	金谷信子	H27. 7. 6	～ H32. 3. 31
大竹市	大竹市	大竹市市民活動助成審査委員	教授	金谷信子	H28. 6. 1	～ H30. 5. 31
その他	公益財団法人広島市文化財団	公益財団法人広島市文化財団文化活動助成事業審査委員	教授	金谷信子	H27. 7. 20	～ H29. 3. 31
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	関村 誠	H27. 12. 1	～ H29. 11. 30
その他	特定非営利活動法人全国ラジオ体操連盟	特定非営利活動法人全国ラジオ体操連盟評議員	教授	曾根幹子	H25. 7. 1	～ H29. 6. 30
その他	財団法人広島県教育事業団評議員	財団法人広島県教育事業団評議員	教授	曾根幹子	H25. 4. 1	～ H29. 3. 31
その他	財団法人広島市スポーツ協会	広島市スポーツ振興基金選考委員会委員	教授	曾根幹子	H26. 4. 1	～ H30. 3. 31
広島市	広島市都市整備局都市機能調整部	広島市市民球場運営協議会委員	教授	曾根幹子	H26. 11. 1	～ H28. 10. 31
広島市	広島市企画総務局公文書館	広島市公文書館運営委員会委員	教授	曾根幹子	H24. 12. 10	～ H30. 3. 31
その他	広島県ラジオ体操連盟	広島県ラジオ体操連盟委員	教授	曾根幹子	H28. 4. 22	～ H30. 3. 31

その他	中国地方ラジオ体操連盟	中国地方ラジオ体操連盟役員	教授	曾根幹子	H28. 5. 10	～ H30. 3. 31
国	国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局事業評価監視委員会委員	教授	寺田英子	H27. 6. 24	～ H29. 3. 31
広島県	広島県港湾振興課	広島県海域利用審査会委員	教授	寺田英子	H25. 9. 1	～ H29. 8. 31
広島県	広島県港湾振興課	広島県広島港地方港湾審議会委員	教授	寺田英子	H26. 12. 16	～ H28. 12. 15
広島県	広島県港湾振興課	広島県広島港地方港湾審議会委員	教授	寺田英子	H28. 12. 21	～ H30. 12. 20
その他	広島大学附属高等学校	平成28年度広島大学附属高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	准教授	ト部匡司	H28. 4. 1	～ H29. 3. 31
その他	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	准教授	柿木伸之	H26. 6. 1	～ H30. 5. 31
その他	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	准教授	城多 努	H28. 4. 1	～ H28. 5. 31
その他	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	共同研究員	准教授	シュラトフ, ヤロスラフ	H28. 4. 25	～ H30. 3. 31
三原市	三原市教育委員会	三原市文化財保護審議会委員	准教授	城市真理子	H27. 5. 15	～ H29. 4. 30
その他	関西大学経済実験センター	関西大学 経済実験センター研究員	准教授	高橋 広雅	H26. 7. 1	～ H31. 3. 31
その他	独立行政法人日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	准教授	田川 玄	H27. 12. 1	～ H29. 11. 30
その他	独立行政法人日本学術振興会	委員・審査員・評価員就任（特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員）	准教授	吉江貴文	H27. 8. 1	～ H29. 3. 31
その他	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館	国立民族学博物館共同研究員	准教授	吉江貴文	H28. 4. 1	～ H29. 3. 31

【情報科学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
その他	専門学校コンピュータ教育学院	教育課程編成委員会委員	准教授	岩根 典之	H29.2.16	～ H31.2.15
その他	一般財団法人 日本規格協会	平成28年度 高齢社会対応標準化主要メンバー会合委員 平成28年度 高齢社会対応標準化国内委員会委員	教授	田中 宏和	H28.4.1	～ H29.3.31
国	知的財産高等裁判所	東京高等裁判所、東京地方裁判所及び大阪地方裁判所所属の専門委員	教授	弘中哲夫	H28.10.1	～ H30.9.30
その他	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	学術認証運営委員会委員	教授	前田 香織	承諾日	～ H29.3.31
広島市	広島市経済観光局観光政策部	広島広域観光情報サイトのシステム構築等業務総合評価審査委員会の特別委員	教授	前田 香織	H28.7	～ H28.10
広島市	広島市教育委員会	広島市立図書館協議会委員	教授	竹澤寿幸	H28.10.1	～ H30.9.30
広島県	広島県立安西高等学校	実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究運営指導委員会委員	教授	井上 智生	H28.7.19	～ H29.3.31
その他	広島大学	グローバルサイエンスキャンパス事業 コンソーシアム会議委員	教授	井上 智生	H28.7.15	～ H29.3.31
その他	広島県立広島井口高等学校	学校関係者評価委員会委員	准教授	内田 智之	H28.6.1	～ H29.3.31
国	中国総合通信局	中国地域ICT産学官連携フォーラム幹事会メンバー	教授	前田 香織	H28.6.21	～ H29.3.31
国	総務省情報流通行政局地域通信振興課	地域情報化アドバイザー	教授	前田 香織	H28.5.30	～ H29.3.31
その他	広島市立沼田高等学校	学校協力者会議委員	教授	井上智生	H28.4.1	～ H29.3.31
その他	株式会社 情報通信総合研究所	メディア融合時代の通信産業研究会委員	教授	前田 香織	H28.6.22	～ H29.3.31
広島市	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	教授	前田 香織	評議員選任の日	～ H31.5
その他	広島市立美鈴が丘高等学校	平成28年度学校協力者会議委員	教授	松原行宏	H28.5.10	～ H29.3.31
広島県 広島市	広島県商工労働局 広島市経済観光局	ひろしまIT融合フォーラム会長	教授	前田香織	H28.5.1	～ H31.4.30
その他	中国情報通信懇談会	中国情報通信懇談会 放送部会幹事	教授	西 正博	H28.4.1	～ H29.3.31
その他	安田女子中学高等学校	スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	教授	井上智生	H28.4.1	～ H29.3.31
その他	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金理事	教授	角田 良明	H27.6.4	～ H29.6.30
広島市	広島市企画総務局	広島市情報政策アドバイザー・ボード委員	教授	前田 香織	H28.4.1	～ H29.3.31
広島市	危機管理室災害対策課	広島市防災情報共有システムの構築及び運用・保守業務総合評価審査委員会の特別委員	教授	前田 香織	H28.3	～ H28.6
広島県	広島県 総務局 業務プロセス改革課	行政LAN・WANコラボレーション基盤等調達委員会委員	教授	前田 香織	H28.3	～ H29.3
その他	弓削商船高等専門学校	弓削商船高等専門学校運営諮問会議委員	教授	前田 香織	H28.4.1	～ H30.3.31
国	独立行政法人日本学術振興会	先端科学(FoS)シンポジウム事業委員会日英先端科学(UK-Japan FoS)シンポジウム・プランニング・グループ・メンバー(PGM)	教授	日浦 慎作	H28.3.1	～ H29.2.28
その他	中国経済連合会	中国経済連合会 情報通信委員会 アドバイザー	教授	前田 香織	H28.4.1	～

【芸術学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
その他	広島県高等学校工業クラブ連盟・広島県高等学校IDコンペ2017実行委員会	「広島県高等学校IDコンペ2017」の作品審査員及び指導助言者	教授	吉田 幸弘	H29.1.31、	H29.2.18
その他	公益財団法人 金沢芸術創造財団 金沢卯辰山工芸工房	金沢卯辰山工芸工房 漆芸工房 前期講評会および講義	准教授	大塚 智嗣	H29.2.17	～ H29. 2.18
その他	武蔵野美術学園	武蔵野美術学園造形芸術科日本画専攻指導・講義における講師	准教授	荒木 亨子	H29.1.23	
その他	広島県高等学校美術連盟	「第15回広島県高等学校 絵画・彫刻コンクール」審査員	教授	伊東 敏光	H28.11.8	
その他	広島県中学校技術科研究サークル	第26回広島県中学校技術科研究サークル冬季実技研修会講師	教授	南 昌伸	H28.12.23	～ H28. 12.24
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	H28.10.20	～ H30.10.19
その他	平清盛記念事業実行委員会	「平清盛生誕900年」ロゴマークの一般公募作品の審査員	教授	及川 久男	H29.1予定	
広島市	公益財団法人広島市文化財団 勤労青少年ホーム	「Youth Life CM大賞」審査員	教授	笠原 浩	H28.11.1	～ H28. 11.23
広島市	公益財団法人広島市文化財団 段原公民館	講座「地域再発見 猿猴橋の復元2」の講師	教授	吉田 幸弘	H28.9.17	
広島市	公益財団法人広島市文化財団 佐伯区民文化センター	「さえきアートキャンパス2016」講師	助教	湯浅 ひろみ	H28.8.18、	8.19、 8.21
広島市	公益財団法人広島市文化財団 佐伯区民文化センター	「さえきアートキャンパス2016」講師	准教授	森永 昌司	H28.8.20	～ H28.8.21
その他	岩国市市民生活部文化振興課	第60回岩国市美術展覧会に係る審査員	准教授	大塚 智嗣	H28.9.21	
広島市	水の都ひろしま推進協議会	オープンカフェ出店者選定委員会委員	教授	吉田 幸弘	H28.7.1	～ H29.3.31
広島市	広島市経済観光局観光政策部	広島市水辺のライトアップ検討会委員	教授	吉田 幸弘	委員就任の日	～ H29.3.31
その他	府中町(企画財政部企画課)	「府中町ロゴマーク・キャッチコピー」の選考委員	教授	及川 久男	H28.7	～ H28.8
その他	東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント実行委員会	「東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント事業」における出品作品審査員	教授	前川 義春	H28.8.26	～ H28. 8.27
その他	第40回全国高等学校総合文化祭広島県実行委員会	第40回全国高等学校総合文化祭情報部門の審査員	教授	笠原 浩	H28.7.30	～ H28. 7.31
その他	石川県輪島漆芸美術館	企画展「漆芸の未来を拓く一生新の時2016ー」ギャラリートーク、シンポジウム出席	准教授	大塚 智嗣	H28.6.11	
広島市	広島市安佐南区役所	「絆花壇」プレート選定委員会委員	教授	笠原 浩	H28.5.30	
広島市	都市整備局都市計画課	広島市都市デザインアドバイザー会議委員	教授	鰐澤 達夫	H28.5.26	～ H30. 5.25
広島市	健康福祉局障害福祉部障害福祉課	広島市障害者施策推進協議会委員	教授	吉田 幸弘	H28.6	～ H30. 5
広島市	広島市立基町高等学校	広島市立基町高等学校協力者会議委員	准教授	森永 昌司	承諾日	～ H29.3.31
その他	広島広告協会	第37回広島広告企画制作賞審査員	教授	及川 久男	H28.4.19	
広島市	(公財)広島平和文化センター	ヒロシマ・ピースフォーラム講師	教授	大矢 英雄	H28.7.9	
広島県	広島県環境県民局	第4回新県美展(第68回広島県美術展)審査員	准教授	森永 昌司	H28.6.15	
広島市	都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」委員	講師	中村 圭	委員就任の日	～ H29.5.31
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	H26.10.20	～ H28.10.19
広島市	広島市都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」審査委員	教授	及川 久男	H25.6.1	～ H29.5.31

【平和研究所】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示検討会議委員	副所長	水本和実	就任承諾日(H22. 5. 27)	～ H29. 3. 31
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示説明文執筆会議委員	副所長	水本和実	就任承諾日(H25. 7. 11)	～ H30. 3. 31
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示説明文執筆会議委員	教授	ジェイコブズ、ロバート	就任承諾日(H25. 7. 11)	～ H30. 3. 31
広島市	教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際平和未来会議ヒロシマ2016実行委員会委員	副所長	水本和実	H28. 4. 5	～ H29. 3. 31
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	所長	吉川 元	H27. 4. 1	～ H29. 3. 31
その他	公益財団法人日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター	平成28年度広島県委託「ひろしまレポート作成事業」委員	副所長	水本和実	H29. 1. 24	～ H29. 3. 31
その他	自治労広島県本部	広島地方自治研究センター理事	准教授	河上暁弘	H28. 2. 1	～ H29. 1. 31
					H29. 2. 1	～ H30. 1. 31

(3) 高大連携

ア 教育ネットワーク中国における高大連携（平成 28 年度）

◆中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（備北地区）

実施日	曜日	開催時間	開催高校	内 容	人数	出席者
7/16	土	10:30 ～ 11:20	庄原格致高等学校	異文化理解と外国語（英語）学習	15	【国際】岩井教授

イ 広島市教育委員会との高大連携講座（平成 28 年度）

◆美術分野

- 講 座 名 「古典を体験～黄金背景テンペラ」
- 参 加 者 市立高等学校生徒 18名 市立高等学校教員 2名
- 日 時 平成28年8月10日(水)、12日(金)、13日(土) 10:00～17:00
- 実施場所 広島市立大学
- 内 容 中世ヨーロッパのイコンや宗教絵画に見られた古典技法の黄金背景テンペラの技法を体験し、卵黄テンペラを始めとする絵画制作を行う。西洋絵画は長い歴史の中で、思想、環境の変化とともに様々な技法が生まれてきた油絵はその一部である。今回はそのルーツの一つである、黄金背景テンペラを体験する。制作を通して伝統的な作品形態や支持体、技法、絵具等がどのように表現と関わるかを、現代の目線で考える。

ウ 高校での模擬授業の開催（平成 28 年度）

実施日	開催時間	場 所	内 容	対象者	人数	授業者
6/22（水）	11:45 ～ 12:35	広島県立廿日市西高校	模擬授業（国際）	2年生	18	赤星（国際）
7/6（水）	15:20 ～ 16:20	山口県立熊毛南高校	模擬授業（芸術）	1・2年生	17	永見（芸術）
7/7（木）	10:30 ～ 12:30	広島市立美鈴が丘高校	模擬授業（国際）	1・2年生	32	佐藤（国際）
7/7（木）	10:30 ～ 12:30	広島市立美鈴が丘高校	模擬授業（情報）	1・2年生	30	末松（情報）
7/7（木）	13:30 ～ 15:00	広島県立広島皆実高校	模擬授業（国際）	2年生	24	山口（国際）
7/7（木）	13:30 ～ 15:00	広島県立広島皆実高校	模擬授業（情報）	2年生	16	樋脇（情報）
7/13（水）	14:25 ～ 15:45	広島市立基町高校	模擬授業（国際）	2年生	20	古澤（国際）
7/13（水）	14:25 ～ 15:45	広島市立基町高校	模擬授業（芸術）	2年生	43	永見（芸術）
7/13（水）	14:25 ～ 15:55	広島県立祇園北高校	模擬授業（国際）	2年生	15	大庭（国際）
7/13（水）	14:25 ～ 15:55	広島県立祇園北高校	模擬授業（情報）	2年生	34	内田（情報）
7/14（木）	14:10 ～ 16:00	広島県立広高校	模擬授業（情報）	1・2年生	40	増谷（情報）
7/21（木）	10:00 ～ 11:30	広島県立安芸高校	模擬授業（情報）	2年生	15	前田・高野（情報）
9/28（水）	14:35 ～ 15:45	広島県立呉宮原高校	模擬授業（国際）	1・2年生	15	飯島（国際）

9/28 (水)	14:35 ~ 15:45	広島県立呉宮原高校	模擬授業 (情報)	1・2 年生	29	市原 (情報)
9/28 (水)	14:35 ~ 15:45	広島県立呉宮原高校	模擬授業 (芸術)	1・2 年生	10	藁谷 (芸術)
10/4 (火)	14:25 ~ 16:15	岡山県立倉敷南高校	模擬授業 (国際)	1・2 年生	75	大庭 (国際)
10/19 (水)	14:30 ~ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業 (情報)	1 年生	25	李 (情報)
10/19 (水)	14:30 ~ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業 (芸術)	1 年生	8	志水 (芸術)
10/27 (木)	10:40 ~ 12:10	比治山女子高校	模擬授業 (国際)	1・2 年生	28	大東和 (国際)
10/27 (木)	10:40 ~ 12:10	比治山女子高校	模擬授業 (情報)	1・2 年生	18	北上 (情報)
11/24 (木)	14:20 ~ 15:10	広陵高校	模擬授業 (情報)	2 年生	24	八方 (情報)
1/31 (火)	13:30 ~ 15:00	群馬県立西邑楽高校	模擬授業 (芸術)	1・2・3 年生	108	諏訪 (芸術)

(4) その他の連携（平成 29 年 4 月 1 日時点）

機関名	締結年月日	内容	備考
株式会社広島銀行	平成 17 年 12 月 20 日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	広島市立大学教育ローンに関する覚書（平成 19 年 10 月 31 日締結）
公益財団法人広島 平和文化センター	平成 20 年 9 月 30 日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	財団法人広島平和文化センターが所管する「ヒロシマ・ピース・ボランティアを対象とした広島市立大学の授業公開等に係る覚書」（平成 16 年 9 月 30 日締結）
広島修道大学	平成 21 年 2 月 19 日	・学生の教育に関すること ・学生の諸活動の支援に関すること ・学術研究に関すること ・地域貢献に関すること ・その他両者が協議して必要と認めること	
広島東洋カープ	平成 21 年 3 月 10 日	国際学部「企業インターンシップ」に関する覚書	
広島大学	平成 21 年 3 月 16 日	・共同の研究プロジェクト ・教職員の交流 ・学生の交流 ・施設の利用 ・その他必要な事項	
広島大学、 広島工業大学	平成 21 年 9 月 7 日	大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムの共同実施に関する協定	情報医工学プログラムの共同実施
広島市安佐南区	平成 22 年 9 月 27 日	・まちづくりの推進 ・教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進 ・人材の育成 ・その他両者が協議して必要と認める分野	
日本アイ・ビー・ エム株式会社東京 基礎研究所、広島 市	平成 22 年 11 月 9 日	・ＩＣＴの利活用による障害者及び高齢者の社会参画の促進に関すること ・ＩＣＴの利活用による環境負荷軽減対策に関すること ・産学公民が連携した地域のＩＣＴ人材の育成や産業振興に関すること	
日本公認会計士協 会中国会	平成 24 年 7 月 31 日	・双方が主催する公開セミナー等への参加 ・本学が開講する会計及び監査関連講座への公認会計士協会の講師派遣 ・定期的な相互情報交換や意見交換	
広島大学、広島工 業大学、広島国際 大学	平成 24 年 9 月 21 日	大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定	臨床情報医工学プログラムの共同実施
長崎大学核兵器廃 絶研究センター	平成 24 年 11 月 19 日	・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する情報の調査、収集及び分析 ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する研究会、シンポジウム等の実施 ・収集、分析及び蓄積した文献、資料、電子情報等の活用 ・研究者の人的交流 ・その他本協定の目的を達成するために必要な事項	

機関名	締結年月日	内容	備考
横浜市立大学をはじめ 10 校	平成 26 年 4 月 1 日	就職支援パートナーシップ制度における パートナー大学での支援内容 ・ 就職支援 ・ 就職関連資料の閲覧 ・ 就職ラウンジの利用	(協定締結大学、本学を含む 全 11 校) 横浜市立大学、北九州市立 大学、静岡県立大学、兵庫 県立大学、広島市立大学、 大阪市立大学、福井県立大 学、信州大学、都留文科大 学、国際教養大学、名古屋 市立大学
呉信用金庫	平成 26 年 11 月 11 日	・ 地域経済・地域企業の活性化に関する事 項 ・ 中小企業等の新分野進出・新規事業創出 の支援に関する事項 ・ 中小企業等の技術および経営管理の相談 や共同事業に関する事項 ・ その他前条の目的に沿った諸課題に関す る事項	
広島修道大学商学 部	平成 27 年 3 月 19 日	大学連携による新たな教育プログラム開 発・実施事業	代表校：広島修道大学商学 部 連携校：広島市立大学国際 学部
広島大学をはじめ 8 校	平成 29 年 1 月 23 日	COC+事業参加大学間の単位互換に関す る協定	(協定締結大学、本学を含 む全 9 校) 広島市立大学、広島大学、 尾道市立大学、広島経済大 学、広島工業大学、広島国 際大学、広島修道大学、安 田女子大学、広島商船高等 専門学校

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校（平成29年4月1日時点）

	国 名	締結年月日	主な交流内容
国連平和大学	コスタリカ共和国	平成24年11月6日	教員・学生交流 共同研究等
レンヌ第2大学	フランス共和国	平成23年10月4日	
梨花女子大学校	大韓民国	平成21年3月4日	
国際関係学院	中華人民共和国	平成20年4月4日	
西南大学	中華人民共和国	平成18年11月17日	
ベルリン・バイセンゼー芸術大学	ドイツ連邦共和国	平成17年12月9日	
アラヌス大学	ドイツ連邦共和国	平成17年10月12日	
西京大学校	大韓民国	平成17年3月15日	
オルレアン大学	フランス共和国	平成15年6月4日	
ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	平成13年1月11日	
モハメド五世大学	モロッコ王国	平成12年12月12日	
ハノーバー専科大学	ドイツ連邦共和国	平成9年5月30日	
ベルリン・フンボルト大学 （学部間協定）	ドイツ連邦共和国	平成25年9月24日	

(2) 学生交流に関する覚書締結校（平成29年4月1日時点）

	国 名	締結年月日	主な交流内容
上海大学	中華人民共和国	平成25年2月25日	学生交流

(3) 国際交流事業実績（平成28年度）

事 業 名	日 程	内 容	人員等
中国・国際関係学院との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している国際関係学院との学術交流	学生受入：2名 学生派遣：2名
中国・西南大学との学術交流	教員派遣 平成28年9/7～28 学生交換 通年 学生短期派遣 平成28年9/7～28	学術交流協定を締結している西南大学との学術交流	教員派遣：1名 学生受入：2名 学生派遣：5名 （短期5名）
中国・上海大学との学生交流	学生交換 通年	学生交流に関する覚書を締結している上海大学との学術交流	学生受入：2名 学生派遣：2名
韓国・西京大学校との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している西京大学校との学術交流	学生受入：3名 学生派遣：3名
韓国・梨花女子大学校との学術交流	学生派遣 通年	学術交流協定を締結している梨花女子大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：2名
ドイツ・ハノーバー専科大学との学術交流	教員派遣 平成28年6/12～20 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハノーバー専科大学との学術交流	教員受入：2名 学生受入：7名 学生派遣：6名
ドイツ・ベルリンバイセンゼー芸術大学との学術交流	学生派遣 通年	学術交流協定を締結しているベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生受入：1名 学生派遣：1名
ドイツ・アラヌス大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているアラヌス大学との学術交流	学生派遣：0名 学生受入：0名
ドイツ・フンボルト大学との学術交流（学部間）	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているフンボルト大学との学術交流（情報科学部）	学生派遣：0名 学生受入：0名
ドイツ・ヴァインガルテン教育大学との学術交流（学部間）	学生派遣 通年	学術交流協定を締結しているヴァインガルテン教育大学との学術交流（国際学部）	学生派遣：2名
フランス・オルレアン大学との学術交流	教員派遣 平成28年8/29, 8/31, 9/1, 9/6, 平成29年3/6, 3/9 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているオルレアン大学との学術交流	教員派遣：1名 学生派遣：2名 学生受入：0名
フランス・レンヌ第2大学との学術交流	教員派遣 平成28年9/12～9/14, 平成29年2/28～3/1 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているレンヌ第2大学との学術交流	教員派遣：1名 学生派遣：1名 学生受入：2名
アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入平成27年7/29～8/7 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入：1名 学生受入：3名 （短期3名） 学生派遣：1名

事業名	日程	内容	人員等
語学研修/ハワイ大学英語文化研修	学生派遣 平成28年9/4～9/18	アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校での英語文化研修	学生派遣：14名
語学研修/オルレアン大学短期語学研修	学生派遣 平成28年8/22～9/18	フランス・オルレアン大学での短期語学研修	学生派遣：10名
語学研修/モスクワ大学短期特別研修	学生派遣 平成28年8/7～8/21	ロシア・モスクワ大学での短期特別研修	学生派遣：4名
交流プログラム/米国サンフランシスコ・セントメアリーズカレッジの学生との交流	学生受入 平成29年1/7～1/12 学生派遣 平成28年9/12～9/20		学生受入：20名 学生派遣：13名
交流プログラム/シンガポール・シンガポール国立大学の学生との交流	学生受入 平成28年12/14 学生派遣 平成29年2/24～3/3		学生受入：14名 学生派遣：10名
交流プログラム/マレーシア・マレーシア科学大学の学生との交流	学生受入 平成28年8/20～8/28 学生派遣 平成29年3/17～3/24		学生受入：15名 学生派遣：5名
日露青年フォーラム参加者との交流	学生受入 平成28年11/30～12/3		学生受入：23名
韓国・慶北大学校からの学生受入れ	学生受入 平成29年1/15～1/29		学生受入：20名
夏期集中講座 「HIROSHIMA and PEACE 2016」の開催	平成28年8/2～8/10	戦争と平和の本質を理解し、同時にグローバル化の時代における世界平和に関するより現代的な問題を探究することを目的に、国内外の大学生を対象として夏期集中講座を開催した。	国内外（学外）からの受講者17名、 本学学生20名 計37名
広島平和研究所 （シンポジウムの開催）	平成28年7/23	「危機の東アジア核なき世界に向けて」をテーマに国際シンポジウムを開催し、当研究所の研究成果を市民等に公開した。	235名（学内外合わせて）